

### 3. 議題

(1) 平成26年度しろい子どもプラン（次世代育成支援地域行動計画後期計画）の進捗状況・結果等について

子育て支援課

---

#### 平成26年度しろい子どもプラン（次世代育成支援地域行動計画後期計画）の進捗状況

しろい子どもプランは、平成17年度から26年度までの10年間の計画として策定され、「子どもが笑顔で暮らせるまちをめざして」を目標に203の事業を実施することとしました。中間年を迎えた平成21年度は、計画の見直しを行い、18事業を統合、9事業を完了、3事業を廃止。新たに11事業を加え184事業と数値目標9項目について定め後期計画を策定しました。

計画の進捗状況については、毎年進行管理を実施してきましたが、平成26年度は後期計画の最終年度となることから、平成26年度の実績を報告するとともに、事業を振り返り今後の事業を進めるうえでの参考とするため事業の評価を行いました。

##### ① 数値目標について（別表1）

○保育の定員数、一時保育、放課後児童健全育成事業など9項目について数値目標を定めています。

- ※結果
- |            |     |
|------------|-----|
| ・目標値を超えたもの | 5事業 |
| ・届かなかったもの  | 3事業 |
| ・未実施のもの    | 1事業 |

## ②重点事業について（別表2）

○虐待防止事業の充実、児童館事業の充実、食育の推進など、21項目（再掲10事業は含まない）を重点事業として位置づけています。

※結果 A = 4事業、B = 1事業、C = 2事業、  
D = 0事業、E = 1事業、廃止 = 1事業  
数字で評価が出来なかった = 12事業

## ③全事業について（別表3）

○184事業のうち80事業（再掲24事業は含まない）について、参加者数・団体数・利用件数・受診率・講座数などを基本に増減率を算出し、22年度と26年度の事業の比較を行いました。

※結果 A = 30事業、B = 10事業、C = 9事業、  
D = 9事業、E = 23事業、廃止 = 3事業  
未実施 = 4事業

# 平成26年度 しろい子どもプラン (次世代育成支援地域行動計画 後期計画) 進捗状況 結果等について

ページ	項目
1	別表 ①数値目標について
2	別表 ②重点事業について
3~11	別表 ②重点事業について 詳細
12	別表 ③全事業について
13~33	別表 ③全事業について 詳細

別表 ①数値目標について

事業名	型	前期計画				後期計画			
		指標	前期計画 策定時の状況	平成21年度 目標事業量	達成状況 (平成21年 6月末現)	型	指標	平成26年度 目標事業量	達成状況 (平成27年 3月末現在)
通常保育事業		定員数	520人	520人	669人 128.7%	達成率 6月未現	定員数	806人	863人 107.1%
延長保育事業		か所数	5か所	5か所	6か所 120.0%	達成率 6月未現	定員数 か所数	最大1,018人 8か所	8か所 100.0%
一時保育事業		定員数 か所数	13人 3か所	33人 5か所	33人 100.0%	達成率 6月未現	定員数 か所数	※ 9100人年 5か所	※3378人年 3か所 37.1%
休日保育事業						達成率 6月未現	定員数 か所数	1111人 1か所	0人 0.0%
病児・病後児保育事業	施設型 派遣型	定員数 か所数	0人 0人	4人 0人	4人 0人	達成率 6月未現	定員数 か所数	※ 1200人年 1か所	※ 8人年 1か所 0.67%
放課後児童健全育成事業		か所数	7か所	9か所	9か所	達成率 6月未現	定員数 か所数	540人 11か所	647人 11か所 119.8%
地域子育て拠点	子育て支援センター事業 つどいの広場事業	か所数	1か所 0か所	3か所 0か所	2か所 1か所	達成率 6月未現	定員数 か所数	2か所 4か所	2か所 4か所 100.0% 6530組 5480組
ファミリーサポートセンター事業		か所数	1か所	1か所	1か所	達成率 6月未現	か所数	0か所 1か所	0か所 1か所 0.0%

※ 〇〇〇人年は年間の1年間の延人数です。

別表 ②重点事業について

	評価	H22実績/H26実績(実績の割合)	事業数	主な事業
1	A	120%以上	4	・家庭的保育事業　・子ども医療費助成事業　・児童館事業の充実 ・9か月からの食育教室
2	B	120%未満105%以上	1	・虐待防止事業の充実
3	C	105%未満95%以上	2	・放課後子どももプラン事業　・学校での食育の推進
4	D	95%未満80%以上	0	
5	E	80%未満	1	・休日・夜間診療の推進
6	廃止	廃止した事業	1	・特別支援学校児童等の放課後対策の充実
8	再掲	再掲している事業	10	・児童虐待防止ネットワーク事業　・地域子育て支援事業 ・親子で参加する機会の提供
10	空白	数字の評価ができなかつた事業	12	・子育てサークル支援事業　・小児科の誘致に対する支援 ・世代間交流の啓発
11	総数	平成22年度当初計画重点事業とした事業数	31	(総数31－再掲10＝事業数21)

別表 ②重点事業について 詳細

①子どもの権利を守ります。  
一人ひとりの子どもがいきいきと育つよう、子どもの権利を守ります。

事業番号	事業名	担当課	進捗状況及び評価(26年度)	今後の取り組み
60	児童虐待防止ネットワーク 児童事業<2-II-7>重点①	保健福祉相談室 関係各課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表者会議 年 2回開催</li> <li>・担当者会議 偶数月の第3木曜日開催</li> <li>・児童部会(児童家庭課、健康課、学校教育課(教育センター室)、保健福祉相談室)</li> <li>※奇数月は高齢者・DV・障害者部会を実施</li> <li>・虐待事例について、支援方針や各関係機関の役割等を共有することで、円滑に対応することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止・相談、通報先の周知を図り、情報や相談が入るようにしていくとともに、関係機関や関係各課等と連携しながら早期対応に努める。</li> </ul>
98	児童虐待防止ネットワーク 児童事業<2-III-11>重点①	保健福祉相談室 関係各課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業番号60に再掲</li> </ul>	
99	虐待防止事業の充実 <2-III-11>重点①	保健福祉相談室 関係各課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口を242日開設し、電話及び窓口対応のほか出張相談や訪問に協力しながら相談支援を行った。必要に応じて関係課、関係機関と連携・白井市家庭会議(6回/年)担当者会議と連携しながら早期対応及び個別会議を開催し、関係課及び関係機関と連携しながら子育ての変化を共感し、子どももの関わり方のアドバイスや社会資源の情報提供したり、必要時、関係機関と連携しながら対応したことで、養護者の心理的負担の軽減を図ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の相談支援体制を継続するとともに、関係課と連携しながら子育て支援に係るスタッフ及び市民に、怒鳴らない子育て(CSP)の啓発をおこない予防の視点で啓発していく。</li> </ul>
178	児童虐待防止ネットワーク 児童事業<2-V-23>重点①	保健福祉相談室 関係各課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業番号60に再掲</li> </ul>	

重点事業一覧

②小児医療の充実に向けた努力を続けます。  
情報提供を行うなど、小児医療の充実に向けた努力を続けます。

事業番号	事業名	担当課	進捗状況及び評価（26年度）	今後の取り組み
145	休日・夜間診療の推進（小児初期急病診療の支援） <2-IV-18>重点②	健康課	<p>【健康課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発行図書に医療機関一覧及び連絡先 (健康力レシマー、暮らしの便利帳、タウンマップ)</li> <li>・医療機関の位置図を防災マップに掲載</li> <li>・市のホームページに千葉県の「ちば救急医療ネット」をリンク</li> <li>・お盆及び年末年始についての市内医療機関の臨時休診に関する情報を把握し、市ホームページや電話での問い合わせに対応している。</li> </ul> <p>＜効果＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康力レンダー 年1回</li> <li>・全世帯配布及び転入者へ配布(25,000枚印刷)</li> <li>・暮らしの便利帳 全転入者へ配布</li> <li>（しきい子どももプランの内容に基づく事業実績）</li> </ul> <p>【保健福祉相談室】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談者のニーズを把握し、医療機関の情報をホームページ等で調べ提供した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印旛市郡小児初期急病診療所の情報提供を実施していく。</li> <li>・白井市は、印旛郡市の中でも西に位置し東葛地域に隣接していることから休日夜間の救急時は二次救急医療機関（北総白井病院）の他、船橋市や鎌ヶ谷市などの当市内にある聖仁会病院等についても小児科の休日・夜間診療体制の検討について要請をしていきたい。</li> </ul>
147	小児科の誘致に対する支援 <2-IV-18>重点②	健康課	<p>現状では、佐倉市に開設している印旛市郡小児急病診療所の休日・夜間診療の情報提供（ホームページや広報にて）をしている。</p>	
31	待機児童対策 <2-II-5>重点③	児童家庭課	<p>家庭的保育事業を4人の保育者で実施し、実人数8人の保育を実施した。</p>	<p>子ども・子育て支援事業計画に基づく保育料を確保するため、保育士の確保、地域型保育事業の誘致を行う。</p>

③保育サービスを充実させます。

事業番号	事業名	担当課	進捗状況及び評価（26年度）	今後の取り組み

重点事業一覧

<p>32 家庭的保育事業 &lt;2-I-5&gt; 重点②</p> <p>児童家庭課</p> <p>事業番号</p> <p>事業名</p> <p>担当課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭的保育者数 4人</li> <li>・利用者実人数 8人</li> <li>・平成25年5月より家庭的保育者1人保育開始となり、保育者は合計4人となつた。</li> <li>・家庭的保育事業を8人が利用し待機児童の解消につながった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭的保育補助者数 4人</li> <li>・乳幼児以外にも対象を拡大した医療費の助成を行います。</li> </ul>	<p>保育者を4人体制で実施する。保育者と連携保育所との連携を深めるとともに現任研修、応急手当講習を実施し、保育の質の向上を図る。</p>
<p>43 乳幼児・小学生医療費助成 &lt;2-II-6&gt; 重点④</p> <p>健康課</p> <p>事業番号</p> <p>事業名</p> <p>担当課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・110,253件、191,268,136円の助成を行つた。</li> <li>・保護者の経済的負担の軽減と子どもとの保健対策の充実が図られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・28年度での助成対象の拡大を図る。</li> <li>・制度の現状・今後の拡大状況などについて、県及び県内の市町村の動向を注視していく。</li> </ul>	<p>・子どもの医療費の助成範囲を拡大します。</p> <p>子育てにかかる経済的負担を軽減するため、乳幼児以外にも対象を拡大した医療費の助成を行います。</p>
<p>38 学童保育所の充実 &lt;2-II-5&gt; 重点⑤</p> <p>児童家庭課</p> <p>事業番号</p> <p>事業名</p> <p>担当課</p>	<p>⑤子どもが安心して過ごせる場所を確保し、充実させます。</p> <p>乳幼児から中高生までの幅広い年齢の子どもたちが安心して過ごせる場所（児童館、公民館など）を確保し、充実させます。</p>	<p>・8小学校区11学童保育所で、保護者会への委託で事業を実施。未整備地区である第二小学校区においては、第一小学校童保育所での受け入れを実施。対象は低学年だけではなく、小学校児童とし、現在待機児童は発生していない。</p> <p>・平成27年度からこの子ども・子育て支援制度の開始に向け「白井市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」を策定。策定にあたり各学童保育所と保護者会との意見を交換会等を実施。国の動向及び市の状況を説明するとともに保護者の意見についても反映できるものは反映した条例内容とする。</p> <p>・老朽化及び条例基準への適合のため、改善が必要な学童保育所のうち、池の上学童保育所の実施設計をとどまに検討を開始。慎重に対応する必要があるため、次年度以降も検討を繼續。</p> <p>・常勤職員の処遇改善及び学童保育所の健全な運営を目的とし委託料の見直しを実施。</p> <p>・その他の修繕等</p> <p>以上の実施により、保護者会との連携を図りながら、学童保育所の基準の整備や、環境の改善が図れた。</p>	<p>・保護者の負担軽減のための運営方式的検討。</p> <p>・今後の整備を行うとともに、余裕教室の活用を前童も未提としました。次世代育成の観点から、放課後子ども教室と一体的又は連携した事業実施を目標とした総合プランの策定をを目指す。</p>

重点事業一覧

41	特別支援学校児童等の放課後対策の充実 <2-Ⅱ-5>重点⑤	社会福祉課	<p>平成24年度から廃止 (法改正により、利用施設に対し運営費を補助していたものが、利用施設に対する法定給付となつたため)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害児を対象とした児童デイサービス等の事業関係は自立支援法により実施に根拠規定が一本化され、体系も再編された。</li> <li>・障害児を通所支援を利用する保護者は、市町村に申請を行ひ、サービス等利用計画を経て、支給決定を受けた後、利用施設と契約を結ぶこととなる。</li> </ul>
111	児童館事業の充実 <2-Ⅲ-13>重点⑤	児童家庭課 (児童館)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学生対象 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジョイキッズ 94人</li> <li>・チャレンジタイム 209人</li> <li>・レクホール開放 216人</li> <li>・キッズクラブ 69人</li> <li>・お料理クラブ 38人</li> </ul> </li> <li>・他校、異学年の交流を通して、いろいろなことに挑戦するなかで考える力、行動する力を養う。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○中学生以上対象 <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前遊学 125120人(累計)</li> <li>・漢字検定講座 57人</li> <li>・サマーフェスタ 195人(累計)</li> <li>・音楽ワークショップ 73人</li> <li>・ほんた俱楽部 10人(累計)</li> </ul> </li> </ul>
114	放課後子どもプララン事業 <2-Ⅲ-13>重点⑤	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○白井第二小 <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間開催日数：35日 登録児童数：14人 参加延べ人数：461人</li> <li>・実施場所：白井第二小学校図書室・体育館・校庭 等</li> <li>・活動内容：工作、学習、自然体験活動、スポーツ 等</li> </ul> </li> <li>○大山口小 <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間開催日数：9日 登録児童数：30人 参加延べ人数：270人</li> <li>・実施場所：大山口小学校図工室・体育館・校庭 等</li> <li>・活動内容：工作、学習、スポーツ 等</li> </ul> </li> </ul> <p>＜効果＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後の安全安心な活動拠点の確保と地域の方の参画を得て実施することができる。参加者と保護者を対象としたアンケートからは「様々な事に興味を持つようになったこと」「家庭での会話が増えたこと」等の声が上がっている。</li> </ul>
148	児童館事業の充実 <2-Ⅳ-19>重点⑤	児童家庭課 (児童館)	事業番号111に再掲
152	放課後子どもプララン事業 <2-Ⅳ-19>重点⑤	生涯学習課	事業番号114に再掲

## 重点事業一覧

事業番号	事業名	担当課	進捗状況及び評価(26年度)	今後の取り組み
55	子育てサークル支援事業 <2-II-7>重点⑥	健康課	<p>○多胎児サークル支援 ・実施頻度:2カ月に1回 場所:富士センター等 新規参加者:2組 ・多胎児サークルについてはサークルの代表が中心となり、主体的に活動を実施できました。</p>	<p>・児童館や支援センターの職員と連携し、サークルの代表者をサポートできる体制を整える。</p>
59	地域子育て支援拠点事業 <2-II-7>重点⑥	児童家庭課 (保育園)	<p>○市内在住の未就学児と保護者を対象として地域子育て支援センター室を解放 ・9:00～12:00 (月曜日から金曜日) ・13:30～15:30 (月/火/水/金曜日) ・9:00～12:00 (月2回 土曜日解放) 【子育て支援センター 清水口スマイル】 ・開館日数 269日 ・登録者数 288人 ・年間利用者数 子ども4330人 大人3633人 合計7963人 ・園児との交流、親子の触れ合いが多く持てた。また、行事を通じて親子や親同士のつながりを深められた。 ・子育てなどの声も聞かれていた。 【子育て支援センター 南山ふれんど】 ・開館日数 266日 ・登録数282人。 ・年間利用者 6,278人 (子供/大人含む)。(1日平均11組。) ・相談件数94件 (食事・排泄・しつけ・発達など)</p>	<p>【子育て支援センター 清水口スマイル】 ・保護者の意向調査の実施をして支援のあり方を考えて行く。保育園行事の参加や園児との触れ合いの機会を設け、子育てセンターを紹介するボスターを作り、また、支援センターを図り、より多くや、通信、ホームページの方に利用して貢献。 【子・市内各地域へ足を運び、育児情報の提供や相談など積極的に活動を行なっていく。 ・サークル活動の啓発と支援を行う。 ・ボランティアの育成・活用・触れ合いを継続して行く。保護者同士の交流が活発に行われたり、子育ての情報につながる不安の解消につながる。</p>
74	子育て相談窓口 <2-II-7>重点⑥	保健福祉相談室	<p>月曜日～金曜日 午前9時30分～午後4時30分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口・電話・出張相談及び訪問指導</li> <li>・児童に係る保護者や関係者が相談し、対応方法等アドバイスすることで安心した生活を送るために問題の解決方法を見いだせたり、不安の軽減を図ることができた。</li> <li>・延べ活動件数 1,613件</li> </ul>	<p>・複雑な相談の解決を支援するため、組織的なサポートと児童相談所などの関係機関や関係各課との連携を密にして対応していく。</p>

## 重点事業一覧

141	<2-IV-1 6>重点⑥ 世代間交流の啓発 児童家庭課 関係各課	<p>【清水口保育園】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜日開放（年24回）・読み聞かせボランティア（年12回）</li> <li>・わらべうたボランティア（年3回）</li> <li>・スクラップブッキング（年4回）</li> <li>・木のおもちゃの紹介（年2回）</li> <li>・読み聞かせは回数を増やし、スクラップブッキングは、自主サークルにも発展した。</li> </ul> <p>【南山保育園】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜日開放（おむね月2回）保育ボランティア依頼（年1回）</li> <li>・お話しの読み聞かせボランティア（月1回）</li> <li>・おもちゃやの広場ボランティア（月1回）</li> <li>・わらべうたボランティアンテイア（年7回）</li> <li>・ヨガサーカル活動ボランティア（月1回）</li> <li>・ふらだんすサークル活動ボランティア（年間9回）</li> <li>・英会話サークル活動ボランティア（年間3回）</li> <li>・バルーンアートボランティア（年間3回）</li> <li>・（開放や交流機会の設定実施）地区社協（ホーミー）との交流など一緒に遊んだり・ふれあつたり会話をするなど交流がもてた。参加者が増えた。</li> <li>・平日のセンター開放・園庭開放・土曜日開放（平均24名）</li> <li>・ぶらっとタイム 135組 291名</li> <li>・お話しの読み聞かせ 108組 236名・おもちゃの広場 107組 233名</li> <li>・わらべうた 63組 135名・ヨガサークル 83組 166名</li> <li>・ふらだんすサークル 59組 126名</li> </ul>	<p>【清水口保育園】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な年齢層が出会う場を提供していく。</li> <li>・親子にとつて充実感が味わえる時間、空間、安全な環境づくりを提案してゆく。</li> </ul> <p>【南山保育園】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な年齢層が出会う場を提供することでその中から地区社協（ホーミー）と連携することでつながりが持てるようになる。</li> </ul>	
173	<2-V-2 1>重点⑥ 地域子育て支援事業	児童家庭課 (保育園)	事業番号5 9に再掲	

## 重点事業一覧

⑦親子が互いに学び、育てあえる環境づくりを支援します。  
地域での親子のふれあいや学びを通じ、親として、次代の親として、人間形成の場づくりを支援します。

事業番号	事業名	担当課	進捗状況及び評価(26年度)	今後の取り組み
57 <2-II-7>重点⑦	親子教室 (児童家庭館)	○親子教室 ○対象 生後6カ月未満の親子 10回 95組 203人 生後6カ月～1歳未満の親子 10回 29組 58人 0歳～2児親子 5回 65組 130人 1歳児以上親子 37回 100組 290人 2歳児親子 10回 36組 76人 0歳児親子 (H26.4.1までの誕生児と保護者) 7回 85組 183人 0歳児親子 (H26.4.2以降の誕生児と保護者) 5回 39組 80人 0歳児親子 25回 32組 65人  ○親子自主サークル ○対象 0歳児の親子 104回 728組 1,811人 1歳児の親子 123回 861組 1,921人 2歳児の親子 141回 814組 2,003人 (親子サークル合同事業) 3回 140組 299人  ○地区協力共催 ○対象 未就学児の親子 10回 547人 ○父子対象事業 ○対象 未就学の父と子 (駅前児童館 1回 10組 20人)		・子育て情報が交換できる場として開放し、同 年齢の子育ての孤立感、悩みが解決できるよ うな環境をつくります。 ・子育ての子育ての親同士がコミュニケーション していき、母親を中心の子育てから父親にも子育 てに参加することを実現します。

## 重点事業一覧

80	親子で参加する機会の提供 <2-II-8>重点⑦	関係各課	○「おやこの食育教室」主催事業実習2回、みそ作り体験1回実施 ・内容：食育に関する講話、調理実習 ・参加者数：未就学児(4~5歳)とその保護者20組42人 ・みそ作り体験 小学生とその保護者9組19名 <効果> 子どもと保護者が一緒に食事作り、みそ作りを体験し会食することに、「食」に親しむ機会を増やすことで、家庭での「食育」実践に向けた動機付けを図りました。	【健康課】 ・「おやこの食育教室」主催事業実習2回、みそ作り体験1回実施 ・内容：食育に関する講話、調理実習 ・参加者数：未就学児(4~5歳)とその保護者20組42人 ・みそ作り体験 小学生とその保護者9組19名 <効果> 子どもと保護者が一緒に食事作り、みそ作りを体験しなかつていた。 【健康課】 ・継続実施。 ・未就学児、小学生とその保護者を対象にした 【文化課】 ・未就学児も新たに実施する。 【文化課】 ・未就学児も新たに実施する。 【生涯学習課】 ・今後も実行委員会等で、多くの市民・参加者の意見を踏まえ、効率よく効果的に進めていく必要がある。
88	親子で参加する機会の提供 <2-II-9>重点⑦	関係各課	○白井梨マラソン大会 (白井運動公園 スタート・ファニッシュ) ・参加者（親子レースを2人とカウント）・全部門 3,461人 ・親子レース 484人 ・白井梨マラソン大会へ親子で参加することにより、家族間の交流を図ることができた。	【生涯学習課】 ・ロイ君アワーライブ 毎週日曜1回 春夏休み水～日1回 計76回 2,169人 ・ひよこプランナー 毎週日曜1回 春夏休み水～日1回 計9回 335人 ・星を見る会/屋間の星を見る会 毎月1回 計881人 ・親子ライブコンサート 7月 2回 209人 ・ルロットオーケストラ「音の工作室」 3月 47人 ・子どもクリスマス放映（サンタさん来館）12月 3回 282人
89	親子（特に父子）教室 <2-II-9>重点⑦	児童家庭課 (児童館)	事業番号80に再掲	事業番号57に再掲
10	家庭への食育の推進 <2-I-3>重点⑧	健康課	○進歩状況及び評価（26年度） ・妊娠期や乳幼児、小学生とその保護者を対象とした事業の際に、それぞれ対象に応じた食生活について知識の普及を図った。	今後の取り組み ・様々な機会を活用して、家庭における食育への理解が進み実践につながるよう、働きかけを行っていく。
17	9か月からの教育教室 <2-II-4>重点⑧	健康課	・実施回数：年12回実施 ・対象者数：488人 参加者数：291人 参加率：59.6% ・個別相談（希望者）：栄養117件、歯科48件、保健25件	・母親のニーズを確認しながら事業を行う。

管業事業與

別表 ③全事業について

	評価	H22実績/H26実績（実績の割合）	事業数	主な事業
1	A	120%以上	30	・マタニティサロン＆ベビーサロン・こども発達センター事業 ・子ども自身が相談できる体制の整備
2	B	120%未満105%以上	10	・2歳児歯科健診・ふれあい事業 ・虐待防止事業の充実【重点①】
3	C	105%未満95%以上	9	・乳児家庭全戸訪問事業・ひとり親家庭等医療費助成 ・放課後子どもプララン事業
4	D	95%未満80%以上	9	・赤ちゃんとふれあう機会の提供・ママヘルパー派遣事業 ・乳幼児へのブックスタートサービス
5	E	80%未満	23	・乳児健診・病後児保育の実施・視聴覚ライブリーライー事業
6	廃止	廃止した事業	3	・特別支援学校児童等の放課後対策の充実【重点⑤】
7	未実施	実施できなかった事業	4	・保育料の見直し・少子化対策についての検討 ・関係各課及び市民団体等との連絡調整会議の設置
8	再掲している事業		24	・家庭教育講座・ファミリーサポートセンター事業【重点⑥】
9	統合	統合した事業	1	・家庭教育啓発事業
10	空白	数字の評価ができなかった事業	71	・予防接種事業・第三者評価事業 ・生活習慣病（小児）予防検査の実施（小・中学生）
11	総数	平成22年度当初計画した事業数	184	
	比較割合平均	評価ができた事業の平均	117.6%	

別表 ③全事業について

目標	事業番号			事業名	担当課	実施区分	平成20年度実績	判定
	性別	施策	事業番号					
正職員の育児に対する意識の高揚を図る	1	意識啓発の推進	企画政策課	男女共同参画週間に係して、広報しろい6月15日号…「男女共同参画週間」啓發記事・市役所ホームページ「Web版ステップ」	企画政策課	継続	○広報しろい6月15日号…「男女共同参画週間」啓發記事・市役所ホームページ「Web版ステップ」 ・女性に対する暴力をなくす運動「野水鋼業社長・社員インタビュー」6月 ・「女性に対する暴力をなくす運動」11月 ○男女共同参画週間に係して、市役所ホームページに「男女共同参画用語集」など展示	E
性別にとらわれない資料づくりの推進	2	性別にとらわれない資料づくりの推進	企画政策課	男女共同参画週間に係して、広報しろい6月15日号…「男女共同参画週間に係して、市役所ホームページに「男女共同参画用語集」など展示	企画政策課	継続	男女共同参画週間に係して、広報しろい6月15日号…「男女共同参画週間に係して、市役所ホームページに「男女共同参画用語集」など展示	A
家族経営協定の締結促進	3	家族経営協定の締結促進	農業委員会	男女共同参画週間に係して、広報しろい6月15日号…「男女共同参画週間に係して、市役所ホームページに「男女共同参画用語集」など展示	農業委員会	継続	男女共同参画週間に係して、広報しろい6月15日号…「男女共同参画週間に係して、市役所ホームページに「男女共同参画用語集」など展示	A
赤ちゃんとふれあう機会の提供	4	赤ちゃんとふれあう機会の提供	児童家庭課 (保育園・児童 健康課)	男女共同参画週間に係して、広報しろい6月15日号…「男女共同参画週間に係して、市役所ホームページに「男女共同参画用語集」など展示	児童家庭課 (保育園・児童 健康課)	継続	男女共同参画週間に係して、広報しろい6月15日号…「男女共同参画週間に係して、市役所ホームページに「男女共同参画用語集」など展示	D
妊娠・出産に関する安全性と	5	妊娠届出書提出時の母子健康手帳の交付と保健指導	健康課	男女共同参画週間に係して、広報しろい6月15日号…「男女共同参画週間に係して、市役所ホームページに「男女共同参画用語集」など展示	健康課	継続	男女共同参画週間に係して、広報しろい6月15日号…「男女共同参画週間に係して、市役所ホームページに「男女共同参画用語集」など展示	B
もうすぐママクラス「マタニティーサロン」に変更	6	もうすぐママクラス「マタニティーサロン」に変更	健康課	男女共同参画週間に係して、広報しろい6月15日号…「男女共同参画週間に係して、市役所ホームページに「男女共同参画用語集」など展示	健康課	継続	男女共同参画週間に係して、広報しろい6月15日号…「男女共同参画週間に係して、市役所ホームページに「男女共同参画用語集」など展示	D
将来的な「家族」のために	7	マタニティーサロン＆ベビーサロン	健康課	男女共同参画週間に係して、広報しろい6月15日号…「男女共同参画週間に係して、市役所ホームページに「男女共同参画用語集」など展示	健康課	継続	男女共同参画週間に係して、広報しろい6月15日号…「男女共同参画週間に係して、市役所ホームページに「男女共同参画用語集」など展示	A
	8	マタニティ・コンサート+α	文化センター (図書館・プラ ネットワム館) 健康課	男女共同参画週間に係して、広報しろい6月15日号…「男女共同参画週間に係して、市役所ホームページに「男女共同参画用語集」など展示	文化センター (図書館・プラ ネットワム館) 健康課	継続	男女共同参画週間に係して、広報しろい6月15日号…「男女共同参画週間に係して、市役所ホームページに「男女共同参画用語集」など展示	E

別表③全事業について 詳細

目次	事業番号	事業名	担当課	実施区分	平成26年度実績		判定
					件数	結果	
	9	妊娠健診	健康課	継続	○妊娠健診検査 4,766件 <効果>・経済的負担を軽減できた。・妊娠中の異常の早期発見、乳児期の異常の早期発見が行われ、その後の疾病や障害の予防・軽減につながったと思われる。	E	
	10	家庭への食育の推進 【重点⑧】	健康課	継続84・ 127に再掲	○妊娠期や乳幼児、小学生とその保護者を対象とした事業の際に、それぞれ対象に応じた食生活について知識の普及を図つた。	D	
	11	ヘルパー派遣	児童家庭課	継続 40に再掲	○新生児訪問実施数 (他市からの依頼訪問13件含む) 257件；対出生57.8% (昨年度277件；対出生66.0%)	C	
	12	新生児訪問	健康課	継続 62に再掲	○乳児家庭全戸訪問状況 <内訳>・訪問数:129件 95.5% (※母推による訪問実数: 308件) 他で把握: 4か月育児相談 1件、電話 12件、窓口面接5件、転居: 1件 <効果>・訪問できなかつたケースは関して、他事業や地区担当保健師からの電話等で状況を把握しており、未把握のケースはなく、育児支援および養育環境の把握ができている。 ・研修等を通じ、育児不安の啓発や虐待予防の根点をもちらながら活動できた。	D	
	13	乳児家庭全戸訪問事業	健康課	新規	○乳児健診検査 594件 <効果>・経済的負担を軽減できた。・妊娠中の異常の早期発見、乳児期の異常の早期発見が行われ、その後の疾病や障害の予防・軽減につながったと思われる。	E	
	14	乳児健診	健康課	継続	○年間24回実施 対象者数 456名 来所者数 413名 来所率 90.1%	C	
	15	乳児育児相談	健康課	継続 63に再掲	○EPDS高得点者を含む経過観察者について、経過記録をみて対応することで、継続的な育児支援を実施することができた。 ・停留壘丸については、家での確認の仕方等を載せたチラシを配布し、知識の普及・啓発を実施することができた。	A	
	16	乳児事故防止のための啓発	健康課	継続	○母子手帳交付時のリーフ配布: 457名・4ヶ月育児相談で事故予防の教育を実施: 413名・事故予防に関する保護者への啓発 (児童館等) 9回 実施者数 (保護者) 83名	C	
	17	9か月からの食育教室 【重点⑧】	健康課	継続 56に再掲	○年12回実施 対象者数: 4,88人 参加者数: 2,91人 参加率: 59.6% ・個別相談 (希望者):栄養117件、歯科48件、保健25件 ○3歳児健診・対象者数 611名・来所者数 591名・受診率 96.9%・要精密検査対象者数 10名 ○3歳児健診・対象者数 611名・来所者数 591名・受診率 96.9%・要精密検査対象者数 63名	A	
	18	幼児健康診査	健康課	継続 64に再掲	○健診年間24回実施 ・未受診者において、母子保健推進員の訪問や家庭児童相談室との連携により、状況把握率は100%となつていい。	C	
	19	発達相談	健康課	継続 65に再掲	・場所: 保健福祉センター 内容: 心理発達相談による個別相談 <個別支援> 回数: 年間74回 (189件) 開催 利用者: 美 132名／延 189名 <集団支援> 回数: 1カール6回×3回 各カール定員8 名利用者: 実19名／延96名 <成果>・保護者が子どもの発達上の特徴を理解し、発達センターへの通所を決めるなど、子どもにも必要な支援につながった。	A	

別表③全事業について 詳細

目次	事業番号	事業名	担当課	実施区分	平成26年度実績	判定
20	2歳児歯科健診	健康課	継続	C年間12回実施 対象者：586人 受診者：527人 受診率：90% むし歯率：6.8%	B <効果> ・歯科健診の実施 本事業を実施することで、乳幼児期に1年に1回市の歯科健診を受ける機会ができ、むし歯の早期発見につながった。 ・フッ素塗布の実施 希望者に対しむし歯の予防処置としてフッ素塗布を実施したことで、国や県目標としている3歳児までにフッ化物歯面塗布を受けたことのある者の増加につながった。	A
21	こども発達センター事業	児童家庭課	継続	心身の発達や成長に心配のある子どもや心身障害児及び保護者に対し、相談や指導（グループ・個別）を行い、児童の発達が促され、保護者の不安感の解消が図られた。 契約見 332名（♂ 110名、♀ 122名）H26.3月現在 グループ指導：4,412名 個別指導：2,714名 相談：623名 利用延べ人数：8,522名	C四種混合 ①回目 対象者 487名 実施者 450名 実施率 92.4% 2回目 対象者 487名 実施者 477名 実施率 91.8% ②回目 対象者 48名 実施者 44名 実施率 91.8% 3回目 対象者 48名 実施者 40名 実施率 84.2% ③回目 対象者 0名 対象者 0名 ※平成25年1月から5種混合ワクチンへ切り替える C二種混合 ①2期 対象者 673名 実施率 94.1% BCG 対象者 480名 実施者 446名 実施率 93.3% ②3回目 対象者 633名 実施率 94.1% BCg 対象者 487名 実施者 441名 実施率 83.4% ③3回目 対象者 68名 実施者 68名 実施率 14.0% 2回目 対象者 487名 実施者 377名 実施率 76.4% C日本財政 ①回目 対象者 611名 実施者 659名 実施率 107.9% 2回目 対象者 611名 実施者 635名 実施率 103.9% ②回目 対象者 650名 実施者 639名 実施率 92.9% 2期 対象者 743名 実施者 732名 実施率 91.2% 特例措置実施者 4,352名 対象者 2,617名 実施率 60% 平成23年5月より予防接種法の一部改正により平成17年以降の日本財政接種料の差し替えが緩和された。このことにより対象年齢の拡大となり以下の中の人は7歳6ヶ月から20歳まで期間延長となつた。（特例措置） ○MR 第1期 対象者 307名 実施者 481名 実施率 98.0% 第2期 対象者 712名 実施者 669名 実施率 94.0%	A
22	予防接種事業	健康課	継続	・4か月児相談来所者に相談機関のリーフレット配布：456人 ・各健診を通じて、必要に応じて相談機関の周知や保健指導を実施した。		A
23	アレルギー予防のための啓発活動	健康課	継続		○育児相談、健康診査 ・4か月育児相談：個別相談286人・かみかみ教室：参加者数320組、個別相談83人・1歳6か月児健診検査：集団指導428人、個別相談203人・2歳児歯科健診検査：個別相談135人・3歳児健診検査：624組、個別相談24人 ○栄養相談 ○定期健康相談（月1回健康相談として実施）：66件・電話等相談（随時）：16件 ○介護事業 ・児童館等主催事業 9回 163組 対象：乳幼児親子 内容：講話、個別相談 ほか	D
24	乳幼児期の食生活改善事業	健康課	継続	○保育園歯科健診教育 5回 490人実施 ○○児童館歯科健診教育 5回 114組 245人実施 個別歯科相談 65件 ○○発達センター歯科健診 1回実施 20人 61件 ○○子育て支援センター歯科相談 9回 61件		
25	歯科保健指導	健康課	継続			

別表 ③全事業について 詳細

項目	施設	事業番号	事業名	担当課	実施区分	平成26年度実績			判定
						実施件数	訪問件数	訪問打ち合わせの実施（連絡会年7回）	
26	母子保健推進員活動	健康課	健診未受診者の訪問 実施件数308名・幼児健診未受診者の訪問 訪問件数1名・訪問打ち合わせの実施（連絡会年7回）	○生後2～3か月の全乳児の訪問 <手作りおもちゃ啓発>	総統				B
27	子ども健康相談	健康課	健診未受診者の報告書書き変更。・おめでとう訪問、健診未受診者の訪問、マタニティ＆ベビーサロンといっぽいっぽいの運営など、地域に密着した育児支援活動ができるいた。・健診未受診者の報告書書き変更。	<成果>	総統 66に再掲	○利用者数 ・電話相談 延904名 ・2歳児歯科健診相談時相談 延128名 ・健康教育時の個別相談 延83名 <効果>	・面接相談 延863名 ・マタニティ＆ベビーサロン時相談 延348名 ・健診相談 延11名 ・難病：実1名/延1名 DV：実2名/延2名 虐待：実12名/延22名 その他：実15名/延17名 ・相談者の状況に応じたアドバイスや子育て情報の提供を行い、育児不安の解消につながっている。		A
28	訪問指導	健康課	○訪問実施数 実50名/延451名 ・内訳 妊婦：実2名/延2名 産婦：実131名/延152名、乳児：実106名/延14名 幼児：43名/56名 新生児：実3名/37名 未熟児：実6名/6名 精神障害：実4名/11名 難病：実1名/延1名 DV：実2名/延2名 唐突：実12名/延22名 その他：実15名/延17名 <効果>	総統	○訪問実施数 実50名/延451名 ・内訳 妊婦：実2名/延2名 産婦：実131名/延152名、乳児：実106名/延14名 幼児：43名/56名 新生児：実3名/37名 未熟児：実6名/6名 精神障害：実4名/11名 難病：実1名/延1名 DV：実2名/延2名 唐突：実12名/延22名 その他：実15名/延17名 ・継続支援が必要なケースについては地区担当保健師によって切れ目なく支援を行えている。				D
29	ママヘルパー派遣事業	児童家庭課	○利用者 13人、利用延べ日数 169日、利用延べ時間 274時間 ・ヘルパーを派遣することにより、産褥期にあっては母親の精神的、肉体的負担が軽減された。	総統					A
30	公立保育園での乳児保育の実施	児童家庭課	○清水口保育園 ・産明け（5月7日）児の受け入れ。0才児 12名の受け入れ核家族の家庭が多く、日々の育児についての対象がない保護者がいる中、保育士は発達の様子や離乳食の進め方等のアドバイスをした。又、育児不安の相談、健康面のアドバイスを行う事により子ども達の健やかな成長が見られた。 ○南山保育園 ・産明け保育3名の受け入れ。育児休業を取りにくい親にとって、仕事と子育ての両立支援ができると共に、看護師が配置され、育児休業が取りやすくなるため、スムーズに移行ができた。 ○桜台保育園 ・産明け保育は2名が利用した。育児休業が取りにくい親にとって、仕事と子育ての両立支援ができると共に、看護師が配置されていていたため、産褥や発達の相談ももだつた。父母の保育参加を通して、子育て相談を受け、親子支援が出来た。	総統				E	
31	待機児童対策 【重点③】	児童家庭課	○家庭的保育事業を4人の保育者で実施し、実へ数8人の保育を実施した。	新規					A
32	家庭的保育事業 【重点③】	児童家庭課	○家庭的保育者数 4人 ・家庭的保育開始となり、保育者は合計4人となつた。・家庭的保育事業を8人が利用し待機児童の解消につながった。	新規					E
33	病後児保育の実施	児童家庭課	○平成25年5月より家庭的保育1人保育開始となり、保育者は合計4人となつた。・家庭的保育事業を8人が利用し待機児童の解消とするとするので、概ね良好である。	新規					A
34	ファミリーサポートセンター事業の実施	児童家庭課	○平成26年度（平成27年3月31日現在） ・利用会員数 427人（延数） ・提供会員数 88人 ・両方会員数 27人 合計 542人 ○活動延件数 1,546件 (2,362時間) ・保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり 716件 ・子どもの病気が回復期の援助 1件 ・子供の習い事等の援助 302件 ・子供の学習・学びの援助 15件 ・保育所・学校等の休み時の援助 14件 ・学童保育の放課後の預かり 359件 ・保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子供の学校行事の援助 2件 ・保護者等の外出の場合の援助 7件 ・保育者の病気、その他の急用の場合の援助 1件 ・その他 79件 16	総統 135に再掲					

別表③全事業について 詳細

目次	事業番号	事業名	担当課	実施区分	平成21年度実績
A	35	公立保育園での一時保育事業の実施	児童家庭課	継続	[清水口保育園] ・園内の一時保育室（キッズ） 平日8:30～16:30 土曜8:30～12:30まで受けている。 ・利用人数 9.9名 ・1日平均利用人数 4.5人 ・土曜日の利用回数 29日 [南山保育園] ・一時保育室（クレヨン） 平日8:30～16:30 ・利用人数 1051名 ・1日平均4.3人 ・保育ママの利用 23日
36	第三者評価事業	児童家庭課	継続	2年度以降保育園、2年度清水口保育園実施、26年度南山保育園で実施	
37	障害者（見）への各種福祉サービス事業	社会福祉課	継続	○市単独障害福祉サービスの実施 ・難病疾患者見舞金 367人に支給した。（内児童69人）・紙おむつ給付費 22人に支給した。（内児童2人） ○地域活動支援センター運営費補助金 36人に対する補助金 319人に助成した。（内児童0人） ○障害者支援センターの運営 ○障害者福祉センターの運営 ○身体障害者福祉センターの運営 ・235回の各種講座を開催した。（児童利用者なし）	
38	学童保育所の充実 【重点⑤】	児童家庭課	拡充	・8小学校区11学童保育所で、保護者会への委託で事業を実施。未整備地区である第二小学校区においては、第一小学校区に児童は発生していない。 ・平成27年度から「白井市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」を策定。策定にあたり各学童保育所が保護者会との意見交換会等を実施。国の動向及び市の状況を説明するとともに保護者会の意見に反映できるものには反映した条例内容とする。 ・差別化及び条例基準への適合の検討のうち、池の上学童保育所の実施設計を委託。 ・運営方式については、保護者会とともに検討を開始。慎重に対応する必要があるため、次年度以降も検討を継続。 ・常勤職員の待遇改善及び学童保育所の健全な運営を目的として委託料の見直しを実施。 ・その他修繕等 以上の実施により、保護者会との連携を図りながら、学童保育所の整備や、環境の改善が図られた。	E 再 廃 止
39	ひとり親家庭等日常生活支援事業	児童家庭課	継続	登録件数1件 利用件数0件（登録総数 14件）	
40	ヘルパー派遣	児童家庭課	継続 平成26年度実績なし		
41	特別支援学校児童等の放課後対策の充実 【21年度事業名】 〔課後対策の充実〕	社会福祉課	拡充	平成24年度から廃止	
42	出産育児一時金貸付制度	保健課	継続	平成26年度の貸付制度の利用は直接支払制度（平成21年10月1日から）の利用により、無かった。	A
43	乳幼児・小学生医療費助成事業 【重点④】	健康課	拡充	・110,253件、191,268,136円の助成を行った。 ・保護者の経済的負担の軽減と子どもとの保健対策の充実が図られた。	B
44	保育料の見直し	児童家庭課	継続	保育を取り巻く環境の変革期にあることから、保育料の見直しの検討は先送りとした。	未 生
45	幼稚園就園児家庭への補助	学校教育課	継続	○補助金交付履歴数 1,208人（市内 6園 1,041人、市外 23園 167人） ・幼稚園を介して申請をしているため、補助対象者はもれなく申請しており、私立幼稚園へ就園している1,208人の保護者の経済的負担の軽減が図られた。 また、私立幼稚園への就園機会の拡大にも寄与した。	
46	手数料減免事業	課税課	継続	※発行枚数の集計は取っていない。	C
47	ひとり親家庭等医療費助成	児童家庭課	継続	○受給資格者数 931人 対象者数 358人 助成額 7,281,907円 ・保護診療による医療費の自己負担額の一部を助成し、ひとり親家庭等の経済的負担の軽減をすることにより、ひとり親家庭等の生活の安定が図れた。	17

別表③全事業について 詳細

目次	事業番号	事業名	担当課	実施区分	平成26年度実績		判定
					給付件数	給付金額	
にかかる経済的負担の軽減	48	学童保育料の助成	児童家庭課	継続	・学童保育に通う非課税世帯 1,8世帯 21人に1,000,750円の助成を行い、経済的負担の軽減が図られた。	A	
	49	教育資金利子補給金交付事業	教育総務課	継続	<内訳> ・維続分 (H22年受給者) 4件25,494円 ・維続分 (H24年受給者) 11件230,482円 ・新規分 (H26年受給者) 7件54,026円	E	
	50	障害者(児)への各種助成事業	社会福祉課 児童家庭課	継続	<効果> ・申請件数は少なかつたが、申請者への経済的負担の軽減、定住促進、少子化対策が図れた。	A	
	51	心身障害者(児)一時介護料の助成	社会福祉課	継続	○日常生活用具給付(障害があり日常生活に支障があるものに給付給付) ○重度心身障害者医療費助成重度障害者に対する医療費の一部を助成助成 件数 89件(児童の対象件数 124件) 件数 2,487件(児童の対象件数 58件)	A	
	52	特別支援教育就学奨励費補助事業	学校教育課	新規	個別支援学級該当者 小学生63名 中学生30名 通常 常学級該当者 小学生13名 中学生3名 級教室該当者 小学生11名 中学生0名 合計120人 へ学用品費や給食費などの支援を行った。小学校 2,19万6千円 中学校 109万8千円	A	
	53	ファミリーサポートセンター利用料 金の検討	児童家庭課	継続	○ファミリーサポートセンター利用料金の見直しはしていないが、「子育て支援事業等利用料助成制度」によって利用者の費用負担の軽減を図っている。 ○平成19年6月より、一時保育利用者、ファミリーサポートセンター利用者、社会福祉協議会が行う住民参加型ホームヘルプサービス事業(まごころサービス)利用者を対象に「子育て支援事業等利用料助成事業」の制度を利用して、利用料の一部(1/2)を、助成する。(助成の限度額は、月額20,000円まで。 <平成26年度実績> 登録 1,3世帯 実績 5世帯うち、ファミリーサポートセンター利用181.5時間。(助成金額61,570円)	E	
	54	母子家庭自立支援給付金事業	児童家庭課	継続	・母子家庭自立支援教育訓練給付金 利用者なし。 ・母子家庭高等技能訓練促進費 受給者4名 入学支援修了一時金 2名 給付金を支給することにより、自立を促すことができた。	C	
	55	子育てサークル支援事業 【重点⑥】	健康課	継続	○多胎児サークル支援 <効果> ・実施頻度: 年1,2回実施 対象者数: 48人 参加率: 59% ・多胎児サークルについてはサークルの代表が中心となり、主体的に活動を実施できた。	A	
	56	9か月からの食育教室	健康課	継続 17に再掲	実施回数: 年1,2回実施 対象者数: 48人 参加率: 59% 個別相談(希望者) 未満17件、満24件	A	
	57	親子教室 【重点⑦】	児童家庭課 (児童館)	継続 89に再掲	○親子教室 生後6ヶ月未満の親子 10回 95組 203人 生後6ヶ月～1歳未満の親子 10回 29組 58人 0歳～2歳親子 5回 65組 130人 1歳児以上親子 37回 100組 290人 2歳児親子 10回 36組 76人 0歳児親子 (H26.4.2以降に生まれた子と保護者) 7回85組183人 0歳児親子 (H26.4.2以降に生まれた子と保護者) 5回33組80人 0歳児親子 25回 32組 65人 ○親子自主サークル ○親子見の親子 104回 728組 1,811人 1歳児の親子 123回 861組 1,921人 2歳児の親子 141回 814組 2,003人 (親子サークル合同事業) 3回 140組 299人 ○地区社会と共催 ○対象 未就学児の親子 10回 547人 ○父子対象事業 ○対象 未就学の父と子 駅前児童館 1回 10組 20人	E	

別表③全事業について 詳細				平成26年度実績			
目標	施策	事業番号	事業名	担当課	実施区分		判定
		58	子育て親子のたまり場事業	児童家庭課 (児童館)	・「乳幼児ルーム開放」・6,933人 ・「育児相談」・63組 ・「プール開放」・26組 ・「親子で遊ぼう」・232人 ・「おもちゃやの遊びいすき」・87組 ・「おひだりタイム」・166人 ・「のびのびのドリーム開放」・658組 ・「チャイルドルーム開放」・1,392人 ・「施設相談」・8組 ・「キッズ映画会」・8組 ・「キッズスマイル」・59人	・「おはなしバスケット」・165人 ・「おもちゃの開放」・53人 ・「おもつさんの読み聞かせ」・40人 ・「おひだりトーク」・32組 ・「ひだりトーク」・126組 ・「栄養相談」・13組 ・「おはなしバスケット」・3682人	A
		59	地域子育て支援拠点事業 【重点⑥】	児童家庭課 (保育園)	○市内在住の未就学児と保護者を対象として地域子育て支援センター室を開放 【子育て支援センター】・9:00～12:00（月曜日から金曜日）・13:30～15:30（月/火水/金曜日）・9:00～12:00（月曜日解放） ・開催日数・南山ふれんど】 ・会館日数・登録者数282人。年間利用者 ・「子育て支援センター」・9:00～12:00（月曜日から金曜日）・13:30～15:30（月/火水/金曜日）・9:00～12:00（月曜日解放） ・開催日数・登録者数288人。 ・園児との交流や親同士の交流、親子の触れ合いが多く持てた。また、行事を通して親子や親同士のつながりを深められた。 ・指定管理者独自の事業計画をたてて実施している。	・「子育て支援センター」・9:00～12:00（月曜日から金曜日）・13:30～15:30（月/火水/金曜日）・9:00～12:00（月曜日解放） ・開催日数・登録者数4330人、大人…3633人、合計7663人。 ・また、行事を通して親子や親同士のつながりを深められた。 ・「相談して良かった」などの声も聞かれている。	
		60	児童虐待防止ネットワーク事業 【重点①】	保健福祉相談室 保健関係各課	・代 表者会議 年 2回開催 ・担当者会議 偶数月の第3木曜日開催 児童部会議(児童家庭課、健康課、学校教育課(教育センター室)、保健福祉相談室) ※奇数月は高輪者 JV障害者部会を開催 ・虐待事例について、支援方針や各関係機関の役割等を共有することで、円滑に対応することができた。	・代 表者会議 年 2回開催 ・担当者会議 偶数月の第3木曜日開催 児童部会議(児童家庭課、健康課、学校教育課(教育センター室)、保健福祉相談室) ※奇数月は高輪者 JV障害者部会を開催 ・虐待事例について、支援方針や各関係機関の役割等を共有することで、円滑に対応することができた。	
		61	総合相談窓口機能の充実	保健福祉相談室	・窓口・電話相談等を実施(月～金 8:30～17:15) ・相談件数 880 件/年 (内児童関係の相談は 23 件 2.6%)	・窓口・電話相談等を実施(月～金 8:30～17:15) ・相談件数 257 件；対出生57 8% (半年度277件；対出生66 0%)	
		62	新生児訪問	保健課	・新生児訪問実施数 (他市からの依頼訪問)3件(含む) 257件；対出生57 8% ・市民が相談窓口や保健福祉サービスの利用について理解できるよう保健福祉ガイドブックを継続して作成し、希望者及び 転入者に配布した。	・新生児訪問実施数 (他市からの依頼訪問)3件(含む) 257件；対出生57 8% ・市民が相談窓口や保健福祉サービスの利用について理解できるよう保健福祉ガイドブックを継続して作成し、希望者及び 転入者に配布した。	
		63	乳児育児相談	健康課	○年間24回実施 対象者数 456名 来所者数 413名 来所率 90.1% ＜効果＞ ・IPDS高齢者を含む満6ヶ月健診受診者について、経過記録をみて対応することを、離島的な育児支援を実施することができた。	○年間24回実施 対象者数 456名 来所者数 413名 来所率 90.1% ・IPDS高齢者を含む満6ヶ月健診受診者について、経過記録をみて対応することを、離島的な育児支援を実施することができた。	
		64	幼児健康診査	健康課	各健診年間24回実施 対象者数 504名・来所者数 494名・受診率 97.8%・要精査検査対象者数 10名 ○年間24回実施 対象者数 511名・来所者数 591名・受診率 96.9%・要精査検査対象者数 63名 ＜効果＞ ・未受診者において、母子保健推進員の訪問や家庭児童相談室との連携により、状況把握率は100%となっている。	各健診年間24回実施 対象者数 504名・来所者数 494名・受診率 97.8%・要精査検査対象者数 10名 ○年間24回実施 対象者数 511名・来所者数 591名・受診率 96.9%・要精査検査対象者数 63名 ＜効果＞ ・未受診者において、母子保健推進員の訪問や家庭児童相談室との連携により、状況把握率は100%となっている。	
		65	発達相談	健康課	・場所：保健福祉センター 内容：心理発達相談による個別相談 ・個別支援 同数：年間74回 利用者：実189名 ・集団支援 同数：年間6回×3回 各グループ定員8 名利用者：実19名／延96名 ＜効果＞ ・保護者が子どもの発達上の特徴を理解し、発達センターへの通所を決めるなど、子どもにも必要な支援につながった。	・場所：保健福祉センター 内容：心理発達相談による個別相談 ・個別支援 同数：年間74回 利用者：実189名 ・集団支援 同数：年間6回×3回 各グループ定員8 名利用者：実19名／延96名 ＜効果＞ ・保護者が子どもの発達上の特徴を理解し、発達センターへの通所を決めるなど、子どもにも必要な支援につながった。	

目標	③全事業について 詳細			実施区分	担当課	事業名	事業番号	事業名	事業番号	平成26年度実績	判定	
	施策	事業名	事業番号									
		子ども健康相談	66	健診	健診課	延904名・面接相談 延63名・健康相談 延128名・マタニティ＆ペニーチャロン時相談 延38名 ・2歳児健診時相談 延18名・個別相談 延83名				○利用者数 ○電話相談 延904名・面接相談 延63名・健康相談 延128名・マタニティ＆ペニーチャロン時相談 延38名 <効果> ・相談者の状況に応じたアドバイスや子育て相談の提供を行い、育儿不安の解消につながっている。	再	
		こころの相談	67	保健福祉相談室	保健課	医師の相談 10回開催 15件/年 (うち児童に関する相談は0件) <効果> ・家族や本人が、学校生活や家庭生活、発達に関する対応について助言を受けることができた。				○医師の相談 10回開催 15件/年 (うち児童に関する相談は0件) <効果>	上	
		なのばな子育て応援事業	68	新規	児童家庭課	・なのばな子育て応援事業の制度がなくなつたため。					廃止	
		ほっとハート	69	保健課	児童家庭課	子育て支援センターに訪問する。 ・「スマイル」6・10・2月・「ふれんど」5・9・1月・「ドリームホケット」5・9・1月 ・「いすみ」4・10・2月・「こざくらキッズ」5・9・1月 ・悩みを抱えている保護者に対して、助言することで、不安などの精神的な軽減ができた。また、保健福祉相談室や発達センター等と連携がはかれた。						
		母子自立支援員による相談	70	保健課	児童家庭課	○家庭児童相談員が母子自立支援員を兼務。 ・生活一般(住宅等)…相談件数7件・経済的支援・生活保護…相談件数3件・その他…相談件数0回 ・相談回数17回・相談件数20件・相談回数0回 (合計)						
		教育相談活動	71	保健課	学校教育課 (教室)	・月曜日～金曜日に相談員・指導主事による来室・電話・訪問相談を実施。 ・相談室開設日 2・4・4日・相談件数516件、相談人數604人					A	
		就学相談の実施	72	保健課	学校教育課	○現在、小中学校に在籍する児童・生徒 ○次年度、小中学校入学者の児童・生徒 30名の保護者と学校見学、半日体験、来庁相談を実施し、適切な就学先についての相談を進めることができた。					D	
		福祉施設サービス苦情解決制度	73	保健課	保健福祉相談室	・該当する施設(下記)に苦情受付担当者、苦情解決責任者を置き、第3者委員として苦情相談員を2名委嘱した。 ・利用者による苦情を理屈で扱うべきではない旨の意見を交えた連絡会議を開催し、制度の理解や申し出での状況について共有した。苦情相談員の研修に参加するところが出来た。 ○福祉施設サービス苦情相談担当施設(子ども関係) ・市立保育園(3園)・こども発達センター ・福祉施設サービス苦情受付担当者及び苦情解決責任者による苦情受理、解決件数 0件 ・各施設の苦情相談員及び福連施設苦情相談員の会議 ・担当職員及び福連施設苦情相談員の会議						E
		子育て相談窓口【重点⑥】	74	保健課	保健福祉相談室	月曜日～金曜日 午前9時30分～午後4時30分 窓口・電話・出張相談及び訪問指導 児童に係る保護者や関係者が相談し、対応方法等アドバイスすることで安心した生活を送るために問題の解決方法を見いだせたり、不安の軽減を図ることができた。 ・延べ活動件数 1,613件						

別表③全事業について 詳細

目標	施策	事業番号	事業名	担当課	実施区分	平成26年度実績	判定
D	75	乳幼児へのブックスタートサービス	文化課(図書館・健康課)		○ブックスタートの配布は中止し、ブックスタート類似事業へ変更。保健福祉セインターが月育児相談の会場で、図書館の利用案内が入ったブックスタートパックを手渡す。その際、図書館の所蔵資料を使つた赤ちゃん絵本の読み聞かせも行なう。	○ブックスタートパックの配布は中止し、ブックスタート類似事業へ変更。保健福祉セインターの4か月育児相談の会場で、図書館の職員やブックスタートパックを手渡す。その際、図書館の年代別推薦絵本リスト・図書館の利用案内が入ったブックスタートパックを用意する。平成26年度配布実績(24回) 計412枚	
E	76	子育てサロン	生涯学習課	生涯学習課	継続 371・再掲	○指定督理者が、独自の事業計画を立てて子育てに携わる保護者を対象に実施。	
E	77	家庭教育講座	生涯学習課	生涯学習課	継続 97・138に再掲	○保護者を対象に家庭教育に関する講座を開催し、家庭教育の理解を深めることができた。 ・就学前健診時の講座 各小学校で9回 ・小中学校での家庭教育講座 小学校1回 ・子育て中の保護者を対象とした講座の開催 3回	
E	78	家庭教育啓発事業	生涯学習課	生涯学習課	継続	○「健生活改善推進員協議会主催事業」 ・「おやこの食育教室」 調理実習2回、みそ作り体験1回実施 ・内容：食育に関する講話、調理実習 ・参加者数：・調理実習 未就学児(4～5歳)とその保護者20組42人 ・みそ作り体験 小学生とその保護者9組19名	
E	79	子育て講演会	保健福祉社相談室	保健福祉社相談室	継続	<効果> ・子どもと保護者が一緒に食事作り、みそ作りをして体験し会食することにより、子どもは苦手なものでも食べるきっかけになっていた。「食」に親しむ機会を増やすことで、家庭での「食育」実践に向けた動機付けを図ることができた。	
F	80	親子で参加する機会の提供 【重点⑦】	関係各課	生涯学習課	継続 88に再掲	○白井運動公園大会 (白井運動公園 スタート・フィニッシュ) ・参加者(親子レースを2人とカウント)・全部門 3,461人・親子レース 484人 ・ロイ君アワー 毎週日曜日1回、春夏休み水～日1回 計76回 2,169人 ・ひよこブランチワーム 4/5/9/2月 計9回 335人・星を見る会 星間の星を見る会 毎月1回 計1881人 ・ひよこブランチワーム 7月 2回 209人・親子オーケストラ「音の工作室」 3月 47人 ・親子ラリスマス授換 (サンサンルーム) 12月 3回 282人	
G	81	学習・イベント開催時ににおける託児室の設置推進	企画政策課 関係各課	企画政策課 関係各課	継続	○男女共同参画の観点から、各課で実施する市主催の講演会やイベントなどにおいての保育利用者数や達成度について、数値では捉えていないが、子育て中の方を対象にした事業(ババマ講座、女性のための就職セミナー等)で一時保育の実施が漫透している。 審議会委員については、総務課で審議会等における一時的保育の実施要綱を定めている。結果として利用者はいなかった。 ○ミュニケーション講座(2回講座) 12月5日 参加者:11人 (保育利用者なし)	
H	82	乳幼児のための急救救命講習会の開催支援	交通防災課	交通防災課	継続 6年 自井市 2回 106名の参加。	○消防組合が主催する救命講習会の開催支援(広報紙掲載)を行つた 3回 ○H2.5年度より救命講習の実施要綱が変更があり児・乳児・新生児を対象とする救命講習が追加された。	実績 H2

別表③全事業について詳細				平成26年度実績			
目標	施設	事業番号	事業名	担当課	実施区分		
		83	なるほど行政講座の推進	企画政策課 関係各課	○講座名：H21実施件数 歯つびいスマイル講座：1件 なるほど行政講座全体：58件 なるほど行政講座全体の件数は前年比減だったが、子育て支援に関する講座の件数はほとんど同数だった。	○妊娠届出時の啓発数：157件 ・妊娠届出時には夫向けに父子手帳のリーフレット配布、出生通知受理時には、産後うつのリーフレットを配布しながら啓発を行った。 ○出生通知受理特には夫の来所が多く対応が効果的にできた。 ○マタニティ向け講座（フレ☆ババママスクール）での夫への啓発数：93名 ・出産時や出産後に夫ができるところなどを講話や実習にて啓発し育児参加の意識を高めることができた。	E 再
		84	家庭への食育の推進 【重点⑧】	健康課	○妊娠期や乳幼児、小学生としての保護者を対象とした事業の際に、それぞれ対象に応じて食生活について知識の普及を図つた。		
		85	父親の育児参加についての啓発	健康課			
86	父親参加型事業		児童家庭課	継続	【清水口保育園】 ・土曜日開放 第2・4土曜日 9:00～12:00 年8回園庭開放も実施。父兄も気軽に参加できるよう にしたが、利用者数は変化がない。 ・育児講座「親子でアズムダンス」を実施 7月5日（土） 10:00～11:30 富士センター 参加16組中 母親16名 父親4名参加 参加の父親は子どもと楽しくふれあう事が出来た。 【南山保育園】 ・おむね2月・4月・6月・8月・10月・12月土曜日開放を行なう。平成2.6年度も今までの年度より倍の回数の土曜日開放を実施した。年間2.2回実施し て9:00～12:00センター室を開放し、父親参加の行事として定着しつつある。1回平均3組～1.3組ぐらゐの利用があり年 間7名の父親参加だった。 ・譲演会「ふれあい運動遊び」1回。大勢の父親が参加し親子でふれあい、体を動かして遊ぶことが出来た。（1.8組中4名 父親参加があった。）	○妊娠届出時の啓発数：157件 ・妊娠届出時には夫向けに父子手帳のリーフレット配布、出生通知受理特には夫の来所が多く対応が効果的にできた。 ○マタニティ向け講座（フレ☆ババママスクール）での夫への啓発数：93名 ・出産時や出産後に夫ができるところなどを講話や実習にて啓発し育児参加の意識を高めることができた。	E 再
87	もうすぐババママクラス		健康課	継続 Gに再掲	○実施回数 フレ☆ババママスクール 年6回、マタニティコンサート+α 年4回、 ・参加者数 マタニティカフェ 年6回 99人（家族95人）、マタニティコンサート+α 33人（家族11人） ・マタニティカフェ 40人（家族0人） ＜効果＞ ・日曜日開催にしたことで、夫婦での参加が増加した。 ・アンケートへ結果より妊娠期から家事や育児に協力して取り組む積極的な意識付けが図れている。	○実施回数 フレ☆ババママスクール 年6回、マタニティコンサート+α 年4回、 ・参加者数 プレイママスクール 99人（家族95人）、マタニティコンサート+α 33人（家族11人） ・マタニティカフェ 40人（家族0人） ＜効果＞ ・日曜日開催にしたことで、夫婦での参加が増加した。 ・アンケートへ結果より妊娠期から家事や育児に協力して取り組む積極的な意識付けが図れている。	E 再
88	父親の育児参画の支援 【重点⑦】		文化センター（プラネットリーグ ム館） 関係各課	継続 80に再掲	○食生活改善推進員協議会主催事業 ・内容：「おやこ食育教室」実践授業 ・講師：調理実習 ・参加者数：調理実習 未就学児（4～5歳）とその保護者20組40人 ・みそ作り体験 小学生とその保護者9組19名 ＜効果＞ ・子どもと保護者が一緒に食事作り、みそ作りを体験し会食することにより、子どももは昔手なものでも食べるきっかけになりました。「食」に親しむ機会を増やすことで、家庭での「食育」実践に向けた動機付けを図ることができた。 ○文化講座（プラネットリーグム） ・ロイ君アワー 毎週日曜日1回 春夏休み水～日1回 計76回 2,169人 ・ひよよ子ラブリーム 4/5/9/2月 計9回 335人 ・星を見る会／星間の星を見る会 毎月1回 計881人 ・ルロットオーケストラ「音の工作室」 毎月1回 計47人 ・親子どもクリスマスマツタさん来館 12月 3回 282人 ・生涯学習部	○食生活改善推進員協議会主催事業 ・内容：「おやこ食育教室」実践授業 ・講師：調理実習 ・参加者数：調理実習 未就学児（4～5歳）とその保護者20組40人 ・みそ作り体験 小学生とその保護者9組19名 ＜効果＞ ・子どもと保護者が一緒に食事作り、みそ作りを体験し会食することにより、子どももは昔手なものでも食べるきっかけになりました。「食」に親しむ機会を増やすことで、家庭での「食育」実践に向けた動機付けを図ることができた。 ○文化講座（プラネットリーグム） ・ロイ君アワー 毎週日曜日1回 春夏休み水～日1回 計76回 2,169人 ・ひよよ子ラブリーム 4/5/9/2月 計9回 335人 ・星を見る会／星間の星を見る会 毎月1回 計881人 ・ルロットオーケストラ「音の工作室」 每月1回 計47人 ・親子どもクリスマスマツタさん来館 12月 3回 282人 ・生涯学習部	E 再

別表③全事業について 詳細

事業番号	事業名	担当課	実施区分	平成26年度実績	判定
89	親子（特に父子）教室 【重点⑦】	各児童館	継続 57に再掲	<p>○親子教室 生後～が月未満の親子 10回 95組 203人 生後5ヵ月～1歳未満の親子 10回 79組 58人 0歳～が月未満の親子 3回 65組 130人 1歳児以上親子 37回 100組 290人 2歳児親子 10回 38組 76人 (0歳児親子 (026.4.1までに生まれた子と保護者) 5回 38組 80人 0歳児親子 25回 32組 65人 0歳児親子 (126.4.2以降に生まれた子と保護者) 7回 85組 183人、</p> <p>○親子サークル 0歳児の親子 104回 728組 1,811人 1歳児の親子 123回 861組 1,921人 2歳児の親子 41回 84組 2,003人 (親子サークル) 合同事業 3回 140組 299人</p> <p>○地区社協と共に 未就学児の親子 10回 547人</p> <p>○父対象事業 父対象未就学の父と子 駅前児童館 1回 10組 20人</p>	再
90	各種制度の利用促進のための啓発	商工振興課	継続	<p>○広報しろいによる情報提供 ・労働保険料の申告・給付時期の変更 ・中小企業退職金共済制度 ○市ホームページによる情報提供 ・労働保険適用促進月間 ・千葉県最低賃金改正 ・労働保険適用促進月間 ・改正育児・介護休業法 ・千葉県最低賃金改正 ・ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーン ※各種制度を周知することで利用の促進が図られた。</p>	B
91	労働相談	商工振興課	継続	<p>○年金・労働相談開催日 開催日：毎月第2月曜日（原則） 年1.2回開催 開催日：平成26年5月14日、6月12日、7月9日、8月11日、9月8日、10月14日、11月10日、12月8日、1月13日、2月9日、3月9日 時間：午前10時～午後12時 午後1時～3時 実績：相談件数 27件（内労働相談 6件）</p>	E
92	女性の再就職への研修事業（Re�eワークセミナー）	商工振興課	継続	<p>○子育てお母さんための再就職支援セミナー及び生活就労に関する出張相談 開催日：平成26年12月24日 午前10時～午後12時30分 テーマ：自己理解と就職スキル 参加者：23名 ※セミナーを実施により再就職支援が図られた。</p>	E
93	職業相談	商工振興課	継続	<p>○無料職業紹介所 来場者数合計 2,790件 紹介件数 309件 就業件数 98件 ※無料職業紹介所での相談・紹介することで、求職者の就労支援が図られた。</p>	E
94	人権啓発事業	企画政策課	継続	<p>・各小中学校に依頼し、中学生への人権作文コンテストの募集、小学生への人権標語募集を行う。 ・人権啓発パネルを保健福祉センターで展示。 ・「人権教室」の実施（新規） ・11/21池の上小学校5年生2クラス50名をに実施 講師：人権擁護委員名＊DVDを活用</p>	E
95	いじめ防止啓発事業	学校教育課	継続	<p>ビア・サボートは市内各小中学校において、年間4回の授業を計画通りに実施した。「いのちを大切にするキャンペーン」では、いじめについて市内全14校に、いじめの実態把握のためのアンケート調査を行った。また、市教育委員会として市内全14校に、いじめの実態把握のためのアンケート調査を行った。市教委相談窓口を周知させたカードを小中学校に配布した。</p> <p>ビア・サボートは、いじめ対応について生徒指導主任園に研修を行った。「自分を大切に」「相手を大切に」という意識が児童生徒に浸透しつつある。</p>	E
96	人権相談	企画政策課	継続	<p>いじめ防止基本方針に則り、職員研修や情報提供を行った。 白井市いじめ防止基本方針により、対応スキルを身につけることができた。</p>	E

別表③全事業について 詳細		平成26年度実績			判定
事業名	事業番号	事業名	担当課	実施区分	
「子どもによる発言の場」の確立と重視する	97	家庭教育講座	生涯学習課	継続 77・138再掲	○保護者を対象に家庭教育に関する講座を開催し、家庭教育の理解を深めることができた。
尼童層待防止ネットワーク事業【重点①】	98	尼童層待防止ネットワーク事業	保健福祉相談室 保健関係各課	継続 60・178再掲	○就学前健診時の講座、各小学校で9回 ・小中学生での家庭教育講座、小学校1回 ・子育て中の保護者を对象とした講座の開催 3回 再開
虐待防止事業の充実【重点①】	99	虐待防止事業の充実	保健福祉相談室 保健関係各課	継続	○児童部会議（児童家庭課、健康課、小中学生は高齢者） ・虐待事例について、支援方針や各関係機関の役割等を共有することで、円滑に対応することができた。 再開
子ども自身が相談できる体制の整備	100	子ども自身が相談できる体制の整備	保健福祉相談室 児童家庭課	継続	○毎日を24日開設し、電話及び窓口対応のほか出張相談や訪問にて、延べ1,613件相談対応した。必要に応じて関係課、関係機関と連携協力しながら相談支援を行った。※子育て相談窓口再掲。 ・児童部会議（児童家庭課、健康課、小中学生は高齢者） ・虐待事例について、支援方針や各関係機関と連携しながら早期対応に努めた。 ・子育ての大変さを共感し、子どもの関わり方のアドバイスや社会資源の情報提供したり、必要時、関係機関と連携しながら対応してきたことで、養護者の心理的負担の軽減を図ることができた。 A
青少年相談員活動の推進	101	青少年相談員の活動の推進	生涯学習課	継続	○青少年相談員主催事業 ・窓口・電話・出張相談及び訪問指導 ・家庭児童相談件数 1,613件 うち児童からの相談 1件 ○地区活動 ・第三小学校区通学合宿の開催 ・清水口・七次台・大山口小学校区通学合宿の開催 ・白井第一・第二小学校区活動の開催 ・ソフトテニスの開催 ・白井第一「相談員ボスト」の設置 ○広報活動 ・広報誌「みらい」の発行 D
スクールカウンセラーカーの配置	102	スクールカウンセラーカーの配置	学校教育課	継続	平成17年度からは、市内の全中学校にスクールカウンセラーを配置することができ、不登校や対人関係問題、性格・身体の悩みや非行等の問題行動等、多様な相談を児童生徒をはじめ、保護者や教職員からも受け、心理的な安定を持たせたり、場合によつては教職員も介入して、事態の解決を図つたりしている。また、教職員対象の研修会に臨み、カウンセリングのあり方等の講演や朗読等を行い、生徒指導本體の一助となつた。平成26年度からは、小学校にも配置された。 スクールカウンセラーが受けた相談件数 1,074件 延べ相談人数 1,293人 スクールカウンセラーが行つたり参加した研修・会議 142回 A
学習観点化の推進	103	学習観点化の推進	文化センター (ラネタリウム館)	継続	スター・キッズ・クラブの講座を「近づく七星 久ける月」をテーマに全7回行つた。また、キッズクラブの1コマに講師を招いた天文講演会を行い、一般29人の参加があつた。 「プラネタリウムの仕組みを動かかそ」の講座を5回行い親子18組（41人）の参加があつた。 夏休み期間、近隣の幼稚園や保育園の子どもたちの作品を展示する「ちびっこ星の絵展」を開催。幼稚園・保育園の団体が多く来館する6～7月には、前年のちびっこ星の絵展作品を用い、番組を作製した。

別表 ③全事業について 計画	事業番号	事業名	平成25年度実績			判定
			施設	担当課	実施区分	
A	104	環境学習の推進	環境課	環境課	継続	<p>○環境フォーラムの開催 174名参加            *「自らの手で守ろう ふるさと白井の自然と環境」～自然工ナリギーを考えよう～</p> <p>○環境学習の実施</p> <p>○町野菜の会が主体となり、小学生がEM菌を含んだ、だんごを河川等（金山落とし、富士水路）へ投入し、水質を浄化するための環境学習を実施</p> <p>○環境白書の作成</p> <p>*市内における環境の現状と環境保全に関する各施策の概要及び実績などを取りまとめて、環境白書を作成し、公表。</p>
A	105	図書館子どもサービスの充実	文化センター（図書館）	文化センター（図書館）	継続	<p>&lt;集会行事&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなしあかい 37回 187人</li> <li>・親子おはなしあかい 11回 75組 174人</li> <li>・アラネタリウムでのおはなしあかい ほしざらおはなしあかい 1回 74人</li> </ul> <p>&lt;クリスマスおはなしあかい 3回 235人&gt;</p> <p>&lt;推薦図書の展示等&gt;</p> <p>&lt;資料整備（購入実績）&gt;</p> <p>&lt;資料は一冊書の中から随時選書し購入&gt;</p> <p>&lt;児童書 1,868冊 2,821,076円 青少年 318冊 456,426円&gt;</p> <p>&lt;（子育て支援図書は一冊書の中から随時選書し購入&gt;</p> <p>&lt;児童・青少年&gt; &gt; 0冊（要望なし）</p> <p>&lt;録音図書製作・貸出（児童・青少年）&gt; 0冊（要望なし）</p>
A	106	学校図書館等の教育機関との連携	文化センター（図書館）	文化センター（図書館）	継続	<p>○市内小・中・高・市立保育園への定期巡回</p> <p>・小学校（希望日）、中/高校（月2回） 保育園・子育て支援センター（月1回）</p> <p>○※平成26年度配達冊数 39,137冊（27回）</p> <p>○学校図書室担当者と図書館の連絡会議</p> <p>・市内小・中学校図書主任と読書活動推進補助教員、教育センター室、公共図書館が集まり、情報交換をおこなう。</p> <p>※平成26年度会議（4回）</p>
E	107	視聴覚ライブラリー事業	生涯学習課（視聴覚ライブラリー）	生涯学習課（視聴覚ライブラリー）	継続	<p>&lt;視聴覚教材&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・液晶プロジェクター 19回</li> <li>・AVアンプ・スピーカー 5回</li> <li>・1.6ミリ映写機 2回</li> <li>・視聽覚教材&gt; 1回</li> <li>・②スクリーン 9回</li> <li>・④コードリール 2回</li> <li>・⑥スポットライト 1回</li> <li>・16mmフィルム 5本</li> </ul>
E	108	青少年国際交流事業	学校教育課（教育センター）企画政策課	学校教育課（教育センター）企画政策課	継続	<p>&lt;派遣&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加生徒数 30名・引率教職員数 5名・事前研修会4回実施</li> <li>・帰国後、報告書の作成発行及び、報告会を開催</li> <li>・中学生がオーストラリアの家庭生活、学校生活を通して、相互理解、異文化理解を深めることができた。</li> </ul> <p>&lt;受入れ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受入れ数 17名</li> <li>・引率職員数 3名、引率保護者等数 1名</li> <li>・ホストファミリーや各小中学校での交流活動をとおして、児童生徒の国際理解を深めることができた。</li> </ul>
E	109	立春式事業	生涯学習課	生涯学習課	継続	<p>・実行委員会による、各中学校での贈業体験、キャンプ活動等を実施することにより、自覚・立志・健康の目標のもと社会への仲間入りとして少年期の1つの区切りをつけることができた。</p>
E	110	体験学習事業	生涯学習課 農政課	生涯学習課 農政課	継続	<p>○房総アドベンチヤー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時：事前研修 1泊2日 本研修 5泊6日 場所：千葉県内キャンプ場</li> <li>・参加者：青年5年生 24名参加（小学5年生～中学1年生）</li> <li>○子どもワンパク大会</li> <li>・日時：5月17日（土） 場所：七次台小学校校庭・体育館 内容：様々な遊びのコーナー</li> <li>・参加者：約700名</li> </ul>

## 子どもの学び・遊び・活動の支援

別表 ③全事業について詳細

目標	事業番号	事業名	平成26年度実績			判定	
			施策	担当課	実施区分		
A	111	児童館事業の充実 【重点⑤】	児童家庭課 児童館	継続 148に再掲	C 小学生対象 「ジョイキッズ」・94人 「キッズクラブ」・69人 「お料理クラブ」・38人 「学ぶkids」・73人 ○中学生以上対象 「駅前遊学」・1096人（累計） 「サマーフェスティ」・195人（累計） 「音楽ワークショップ」・309人（累計）	C ○児童館開館時間の延長実施 「駅前遊学」・駅前児童館 ○第1～4金曜・日9時～19時・中1～18歳 〔白井自悠館〕・白井児童館 〔もつとほっと〕・桜台児童館 ・事業内容の充実を図るため生涯学習課で事務局の補佐を行つた。事業に対し330千円を補助した。	C
B	112	公共施設の利用方法の見直し	関係各課	継続 151に再掲	D ○白井第二小 ・年間開催日数：3・5日 登録児童数：1・4人 参加延べ人数：4・61人 ・実施場所：白井第二小学校図書室・体育館・校庭 活動内容：工作、学習、自然体験活動、スポーツ 等 ○大山口小 ・年間開催日数：9日 登録児童数：3・0人 参加延べ人数：2・70人 ・実施場所：大山口小学校図書室・体育館・校庭 活動内容：工作、学習、スポーツ 等 <効果> 放課後の安全安心な活動拠点の確保と地域の方の参画を得て実施することができた。参加者と保護者を対象としたアンケートからは「様々な事に興味を持つようになれたこと」「家庭での会話が増えたこと」等の声が上がっている。	D	
C	113	スポーツ少年団体等への支援	生涯学習課	継続	E ○白井第二小 ・年間開催日数：3・5日 登録児童数：1・4人 参加延べ人数：4・61人 ・実施場所：白井第二小学校図書室・体育館・校庭 活動内容：工作、学習、自然体験活動、スポーツ 等 ○大山口小 ・年間開催日数：9日 登録児童数：3・0人 参加延べ人数：2・70人 ・実施場所：大山口小学校図書室・体育館・校庭 活動内容：工作、学習、スポーツ 等 <効果> 放課後の安全安心な活動拠点の確保と地域の方の参画を得て実施することができた。参加者と保護者を対象としたアンケートからは「様々な事に興味を持つようになれたこと」「家庭での会話が増えたこと」等の声が上がっている。	E	
D	114	放課後子どもプラザ事業 【重点⑤】	生涯学習課	新規 152に再掲	F ○白井第二小 ・年間開催日数：3・5日 登録児童数：1・4人 参加延べ人数：4・61人 ・実施場所：白井第二小学校図書室・体育館・校庭 活動内容：工作、学習、自然体験活動、スポーツ 等 ○大山口小 ・年間開催日数：9日 登録児童数：3・0人 参加延べ人数：2・70人 ・実施場所：大山口小学校図書室・体育館・校庭 活動内容：工作、学習、スポーツ 等 <効果> 放課後の安全安心な活動拠点の確保と地域の方の参画を得て実施することができた。参加者と保護者を対象としたアンケートからは「様々な事に興味を持つようになれたこと」「家庭での会話が増えたこと」等の声が上がっている。	F	
E	115	情報教育の推進	学校教育課	継続	G ○白井第二小 ・年間開催回数：34回の市内外小中学校に派遣 ○指導主事による来室・電話・訪問相談を実施。	G	
F	116	ALT招致・派遣事業	学校教育課 (教育センター)	新規	H ○白井第二小 ・年間研修実施回数：5・8回 対象者：1・480人 ○指導主事による来室・電話・訪問相談を実施。	H	
G	117	教育相談活動	学校教育課 (教育センター)	継続 7月再掲	I ○白井第二小 ・年間研修実施回数：5・8回 対象者：3・80人 延べ受講者：1・480人 ○指導主事による来室・電話・訪問相談を実施。	I	
H	118	教職員研修の実施	学校教育課 (教育センター)	継続	J ○白井第二小 ・今年度、幼稚園8箇園、保健園5箇園に加え、こども発達センター職員4名も参加し、小学校入学前後の子どもたちの様子や支援方法について情報交換を行つた。	J	
I	119	幼稚園・保育園・小学校連絡会議	学校教育課	継続	K ○白井第二小 ・各学校が設定した目標や具体的な計画等に照らして、その達成状況について自己評価を行い、その評価結果を受けて学校関係者にについて情報交換を行つた。	K	
J	120	学校評議員活動事業	学校教育課	新規	L ○白井第二小 ・評価を実施した今後の改善方策について、広く保護者や地域住民に公表することにより、保護者・地域住民の学校運営への参画を促進し、共通理解に立ち家庭や地域に開かれた学校づくりを推進する。 ○各学校の学校評議員に、随時、授業参観や学校行事に参加してもらいたい、会議や懇親会等で意見聴取を行い、学校教育の充実及び特色ある学校づくり推進することができた。	L	
K	121	学校評議員活動事業	学校教育課	新規	M ○白井第二小 <平成25年度実績> ・個別支援学級の開設および介助員の配置	M	
L	122	個別支援学級の開設	学校教育課	継続	N ○白井第二小 ・毎年5月に各学校の小1と小5年生及び中1年生を対象に、心電図・貧血・血圧・生化学検査等の小児生活習慣病検査を実施している。	N	
M	123	生活習慣病(小児)予防検査の実施 (小・中学生)	学校教育課	継続	O ○白井第二小 ・検査は、医療委託業者と契約し実施している。	O	

別表③全事業について 詳細

目標	施設	事業番号	事業名	担当課	実施区分	平成26年度実績	
							判定
に て る 教 育 の 充 実		124	小・中学校改修事業の実施	教育総務課	拡充	平成26年度においては、白井第一小学校校舎改修工事を実施したことにより、耐震化、バリアフリー化が確保され、児童が活動しやすい安全な教育環境の整備ができた。	E
		125	少人数指導等補助教員配置事業	学校教育課	継続	小学校2校に3名を配置し、本務教員とともに算数等の時間に、少人数指導やチームティーチングを行うことにより、基礎的基本の定着・学習意欲の向上を図る工夫ができた。	A
		126	小中学校部活サポート事業	学校教育課	継続	年間を通して、各小中学校に専門的な指導力を備えたサボーターを派遣し、各部活動の楽しさ・爽快さ・達成感等を体験する機会を豊かにし、スポーツや文化活動に親しみことがあることができた。子どもたちは、部活動の楽しさ・爽快さ・達成感等を体験したサボーター数 派遣した学校数 6校 派遣したサポートー数 延 17人	B
思 考 期 の 課 題 へ の 取 組		127	家庭への食育の推進 【重点⑧】	健康課	継続10・ 84に再掲	妊娠期や乳幼児、「学生としての保護者を対象とした事業の際に、それぞれ対象に応じた食生活について知識の普及を図った。	C
		128	保育園での食育 【重点⑨】	保育園	継続	<p>【清水口保育園】</p> <p>・年間を通して、ブランクや園内の畑で野菜の作付け及び収穫を体験した。年長児は給食食材の下準備（たけのこやとうもろこしの皮むきなど）を手伝ったり、簡単な調理実習（カレーやキッシュ）を作りなどを行った。また4歳児も「おはぎ作りなど」をした。外部講師による「早起き・朝ごはん」「好き嫌いなく何でも食べよう」とのパネルシアターを実施。子どもたちが興味熱心を示した。実体験は子どもたちの中に残り、家庭でのお手伝いにつながった。</p> <p>・煙では、じゅが芋・さつま芋を植え身近なブランクターには、ミニトマト・ピーマン・なす・オクラ・きゅうり等を植え、生長の様子を見たり世話をします。また収穫した野菜を販売する事で子ども達は、運営の困難を経験する事で子ども達は、ミニトマトを栽培し、世話ををして取扱しません。またお手伝いにもつながりました。外部講師を招き「だしの話し」「こどもの話」をこども達に向け行つた。子ども達は、興味を持ち家庭でのお手伝いにも見られた。栄養士による、食育指導や保育参加の保護者への給食提供により、食への取り組みが変化して行つた家庭も見られた。</p> <p>【南山保育園】</p> <p>・桜台保育園のU字溝内の土は、未だ放射線濃度が高い状態です。食育のための野菜の栽培は、放射線濃度を計り、安全な花壇やブランクターを利用して行いました。夏野菜のピーマン、なす、おくら、ミニトマトを栽培し、世話ををして取扱しました。放射線の検査量では収穫できなかつたので、食べ物は遊ぶものではないと知らせさせつつ、スタンプや色水で遊んだり、その他自家に持ち帰りました。また、サツマイモの栽培後は、放射線の検査後にスイートポテトのクッキングを作りました。4・5歳児を中心に行いました。豆・竹の子・トウモロコシの皮むき、ジャムサンド作り、ホットケーキのトッピング、カレーの具材切り包丁体験など行いました。</p>	
		129	学校での食育の推進 【重点⑧】	学校教育課	継続	学童の時期からより良い生活習慣（食習慣）を身につけるため、栄養士による栄養の3色分類、食品の話や紙芝居などの栄養指導媒体を使用し食育指導を行った。市内小学校8校 計131回実施	C
		130	教職員の性教育に関する研修の実施	学校教育課	継続	国・県等からパンフレットの提供。	
		131	小・中学生を対象とした啓発事業	学校教育課	継続	国・県等からのパンフレットの提供をしている。研修会の参加を呼びかけている。学校では、保健体育の授業及び講師を呼んで講演会を開くなどして実施している。資料を参考にしたり、講師を呼ぶことで、より児童生徒に理解しやすい内容になった。	B
		132	幼児期からの性（生）教育の取組み	生涯学習課 学校教育課 健康課	継続	・3歳児健診対象者611名に配布。・保護者が性（生）について、考えるきっかけが提供できた。	
		133	適応指導教室	教育センター室 教育セントラル室	継続	・通室児童生徒は、集団活動や運動等の活動を多く取り入れることになり、3年生の6名は進路を決定している。 ・適応指導教室開室日 2011年1月 ・通室生徒数 16名。見学のみ 1名	
		134	学校保健と地域保健との連携	学校教育課	継続	思春期に抱える性と生の教育という観点で、小中学校のカリキュラムに応じて市保健師へ学習要請をする。また、学校保健会の事業として、中学校3校、小学校3校に助産師より、思春期の性について、講演を行つた。	

目標	事業番号	事業名	担当課	実施区分	平成29年度実績		判定
					○平成26年度(平成27年3月31日現在) ○利用会員数：427人(延数) ○活動延件数：1,556件(2,362時間) ○保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり ・幼稚園の登園前の預かり及び送り ・学童保育の放課後の迎え及び帰宅後の預かり ・学童保育等の定期祭による外出、他の子供の学校行事の場合の援助 ・保護者等の外出の場合の援助 ・その他	両方会員数：88人 ○子供会員数：76件 ○保育所・幼稚園の登園前の預かり及び送り ・保育所等の定期・臨時・臨時的事務の援助 ・保育者等の定期的訪問の援助 ・保育者の急用の場合の援助 ・その他	
	135	ファミリーサポートセンター事業の実施	児童家庭課	継続 3回に再掲	○指定管理者者が事業計画を行ない実施している。 ・「ジョイキッズ」・94人 ・「トライアカデミー」・249人 ・「ジヨイキッズ」・94人 ・「将棋教室」・162人 ・「囲碁・将棋」・7人 ・「のど自慢大会」12人 ・世代間交流・184人	B	
	136	ふれあい事業	児童家庭課 (児童館)	継続	○指定管理者者が、独自の事業計画を立てて子育てに悩む保護者を対象に実施。		再
	137	子育てサロン	生涯学習課 公民館	継続 76回に再掲	○保護者を対象に家庭教育講座を開催し ・別学部連携にて講座 ・各小学校で家庭講座 ・小中学校での保護者を対象とした講座の開催 9回		再
	138	家庭教育講座	生涯学習課	継続 77・97に再掲	○小中学校での子育て中の保護者の開催 3回		再
	139	市民参加による身近な公園管理の推進	都市計画課	継続	26箇所の公園において草取り・清掃等の日常管理を委託した。 公園等市民管理委託料 1,460千円		
	140	総合型地域スポーツクラブ事業	生涯学習課	継続	市内に5つの総合型地域スポーツクラブが設立され、市内全域に誰もがいつでも気軽に楽しめるプログラムのスポーツに参加できる環境が整った。また、市民の健康維持・増進に寄与し、地域コミュニティの活性化も図られた。 ○5クラブ設立		B
	141	地域における子育てへの支援  〔世代間交流の啓発 【重点⑥】〕	児童家庭課 関係各課	継続	【清水口保育園】 ・土曜日開放(年2回)・読み聞かせボランティア(年12回)・わらべうたボランティア(年3回) ・スクラップブッキング(年4回)・木のおもちゃの紹介(年2回) ・読み聞かせは回数を増やし、スクラップブッキングは、自主サークルにも発展した。 【南山保育園】 ・おもちゃの広場ボランティア(月1回)・わらべうたボランティア(年7回) ・読み聞かせボランティア(月1回)・ふらんだんすサークル活動ボランティア(月1回) ・ヨガサークル活動ボランティア(年間9回)・バルーンシアートのボランティア(月間3回) ・英会話サークル活動ボランティア(月1回)・地区社会(ホーミー)との交流など一緒に遊んだり・ふれあつたり会話するなど交流がも てた。参考者がセシターとして参画した。 ・平日のセンター開放・園庭開放(平均24名)・ぶらつとタイム 135組 291名 ・お話しの読み聞かせ 108組 236名 ・おもちゃの広場 107組 233名 ・わらべうた 63組 135名 ・ヨガサークル 83組 166名 ・ふらんだんすサークル 59組 126名		

地域における子育てへの支援  
〔世代間交流の啓発  
【重点⑥】〕

30

別表③全事業について 詳細		事業番号	事業名	担当課	実施区分	平成20年度実績	判定
目標	施策						
子ども の居場所の確保	149	子どもの遊び場の整備	児童家庭課	継続	・水質検査業務委託（十余一・令浦）・既存施設の劣化度調査を実施 （谷清・富士南園・富士さくら） ・樹木薬剤（殺虫剤散布）業務委託（谷清・富士南園・富士さくら） ※児童の基本とした遊び場の環境の維持が図られた。		
150 小・中学校体育施設開放放事業	151 公共施設の利用方法の見直し 【重点⑤】	生涯学習課	生涯学習課 児童家庭課 生涯学習課	継続 継続に再掲 新規	・市内小・中学校1.4校の学校体育施設を開放 ・子供達の健康・体力づくりに寄与することができた。  ○児童館開館時間の延長実施 ○駅前児童館・日9時～9時、中～8歳 ○第1～4金曜・白井児童館・99人 【もっとほっこり】・桜台児童館・3人		
152 放課後こどもプラン事業	153 住宅・住環境の整備	生涯学習課	生涯学習課	新規に再掲	○白井第二小学校開催日数：35日 登録児童数：14人 参加延べ人數：461人 活動内容：工作・学習・自然体験活動、スケービング等 ○大山口小学校開催日数：9日 登録児童数：30人 参加延べ人數：270人 活動内容：工作・学習・スポーツ等 <効果> ・放課後の安全安心な活動拠点の確保と地域の方との参画を得て実施することができた 参加者と保護者を対象としたアンケートからは「様々な事態や興味を持つようになったこと」「家庭での会話が増えたこと」等の声が上がっている。 ○白井市まちづくり条例により、適正な指導を行った。 受付件数17件（内建築関係7件）	E	
154 建築物の耐震化の支援事業	154 都市計画課	都市計画課	都市計画課	新規	○無料耐震診断相談会を市役所で毎月実施し、耐震診断補助件数 0件・耐震改修補助件数 0件 ・相談会開催回数 3回・耐震診断補助件数 0件・耐震改修補助件数 0件		
155 公共施設のバリアフリー	155 關係各課	建設課	建設課	継続	公共施設について、子育てに配慮した施設整備を維持・管理した。		
156 道路環境整備事業	156 学校教育課	学校教育課	学校教育課	新規	駅周辺の歩道において、段差・勾配の改良工事を実施し、歩行者等の安全性の向上が図られた。	A	
157 学校防犯対策事業	157 交通防災課	交通防災課	交通防災課	継続	小学校9校において、64人の学校防犯ボランティアが登下校の見守りや声かけなどをを行い、学校安全の確保に協力した。		
158 防犯パトロール	158 交通防災課	交通防災課	交通防災課	継続	○市内一円に防犯灯を設置。 ・4.0Wナトリウム灯を採用。また、24年度よりLED灯の導入。	A	
159 防犯パトロールの実施	159 交通防災課	交通防災課	交通防災課	継続	防犯指導員及び自治会で何らかの方法で防犯パトロールを行つた。市民が、自ら防犯パトロールを行うことにより自らの地域を自らが守るという防犯意識を高め、犯罪の抑止に寄与した。		
160 防犯フレット作成	160 防犯体制の仕組みづくり	学校教育課	学校教育課	新規	実際に起こった犯罪の事案等や対策法などを掲載した、「白井市防犯ニユース」を作成し、しきいメール発信サービスを50回発信を行い、犯罪に巻き込まれない意識の高揚が図られた。	A	
162 児童・生徒の交通安全対策事業	162 子育てしな				○通学用ヘルメットの無償配布（通年） ・白井中学校 40個、大山口中学校 191個、 ・南山中学校 10個、七次台中学校 8個、 ・桜台中学校 20個、合計 341個 ・蛍光反射電柱幕（通学路につき最徐行！）設置（通年）		

別表③全事業について 詳細

目標	施策	事業番号	事業名	担当課	実施区分	平成26年度実績	判定
ボランティアの育成		142	ボランティア育成事業支援	社会福祉課	継続	○平成26年度社会福祉協議会実施事業 (ボランティアアセサニア差構講座：全11講座 参加者207名 (保育ボランティア、傾聴ボランティアなど) ・ボランティア育成講座：生徒・児童1,115名 ・福祉サマースクールの開催 参加者2名 ・福祉教育：全10校11回実施 生徒・児童1,115名 ・その他：東日本大震災災害での支援活動及び災害ボランティア体制の整備 ・福祉機材等の貸出 ・介護支援ボランティア活動が活動で登録者が活動) ○ボランティアを育成することにより、さまざまな分野で援助を必要とする人のサポートができる。	
小児医療の充実	143	「星を見る会」ボランティア	文化センター(プラネタリウム館)	生涯学習課	継続	・19人が星を見る会ボランティア(佐井天文同好会)に登録うち、各星見会に2~10人のボランティアが活動。 ・「星を見る会」等に参加されたお客様に丁寧な解説ができる。観望会参加者は1,257人	E
子育て環境を整えるために	144	ボランティア活動の充実	休日・夜間診療の推進 (小児初期急病診療の実施) 【重点②】	健康課	継続	・期間：事前研修 1泊2日 本研修 5泊6日 ・場所：千葉県内キャンプ場 ・内容：・5泊6日のキャンプ活動をとおして、青少年の「生きる力」を養う。 ・ボランティアは、青少年につきそい、その見守り・指導を行う。 ・「星を見る会」等に参加されたお客様に丁寧な解説ができる。 <効果> ・青少年の健行を通してボランティアのスキルの向上につながった。 ・また、現在の青少年が抱える課題を知ることで、地域教育への関心が高まった。	E
子育て環境を整えるために	145	休日・夜間診療の推進 (小児初期急病診療の実施) 【重点②】	健康課	継続	・小児初期急病診療所へ委託しており、休日夜間などの救急患者を診療するとともに、手術や入院治療が必要な重症患者を2次救急医療病院間に転送する役割 ・受診者数：32人 ・小児二次救急医療病院群輪番制 ・小児救急車等により直接又は初期医療機関からふるるい分けされ、転送されてくる重症救急患者に対応するための役割 <効果> 休日・夜間に迅速に、安心して診療を受けられる。	E	
子育て環境を整えるために	146	医療機関情報の提供	保健福祉相談室	保健課	・発行図書に医療機関一覧及び連絡先、(健康力レンジャー、暮らしの便利帳、タウンマップ) ・医療機関の位置図を防災マップに掲載 ・市のホームページに千葉県の「ちば救急医療ネット」をリンク ・お盆及び年末年始についての市内医療機関の臨時休診に関する情報を把握し、市ホームページや電話での問い合わせに対応している。 【健康課】 ・発行枚数 ・暮らしの便利帳 全軒入者へ配布 (25,000枚印刷) 【保健福祉相談室】 ・暮らしの子どもプランの内容に基づく事業実績 【保健福祉相談室】 ・相談者のニーズを把握し、医療機関の情報をホームページ等で調べて提供した		
子育て環境を整えるために	147	小児科の誘致に対する支援 【重点②】	健康課	継続	・現地では、佐倉市に開設している印旛市郡小尾急病診療所の休日・夜間診療の情報提供(ホームページや広報にて)をしている。		
子育て環境を整えるために	148	児童館事業の充実 【重点⑤】	児童家庭課(児童館)	継続	○小学生対象 「ショイキクラブ」・94人、「チャレンジタイム」・209人、「レクホール開放」・26人 ・「チックスクラブ」・65人、「お料理クラブ」・38人、「小学生・中高生リーフ開放」 ・「つくってあそぼう」・57人 ○中学生以上対象 「学ぶkids」・73人 ○中学生以上対象 「駅前遊学」・1096人(累計) ・「漢字検定講座」・151人(累計) ・「ママーフェスタ」・195人(累計) ・「ほんたす俱楽部」・10人(累計) ・「音楽ワーキングクラブ」・301人(累計)	再	

別表 ③全事業について 詳細

目標	施策	事業番号	事業名	担当課	実施区分	平成26年度実績		判定	
						実績	目標		
	から暮らしやすいまちをつくる	163	交通安全教室の開催	学校教育課 交通安全課	継続	[学校教育課] ・各学校で歩行と自転車の実技を含めた交通安全教室を市交通安全指導員が実施し、交通安全教育に努めた。 白一小、白二小、白三小、大山口小、清水口小、南山小、七次台小、池の上小、桜台小 9校 白井中、大山口中、南山中、七次台中 4校 ・自転車交通安全リーフレット及びチラシを全校児童・生徒に配布し、交通安全教育に努めた。 [市民安全課] 園児、児童及び生徒を対象として各学校において交通安全教室を延べ37回実施した。 交通安全教室を通じて児童、生徒に交通安全思想の普及が図れた。 [実施施設 24校(園) ] ・保健園(7園、11回)・幼稚園(5園、6回)・小学校(9校、16回)・中学校(3校、4回)			
	から暮らしやすいまちをつくる	164	災害時要援護者への協力	交通防災課	拡充	[要援護者システムを導入し、要援護者となりうる対象者として、介護保険における要介護認定者、障がい者、一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯の人をシステムに登録した。]		A	
	から暮らしやすいまちをつくる	165	バス輸送の充実	企画政策課	継続	市内循環バスの運行を実施し、生活交通の利便を図ることができた。 市・運行日数 293日・利用者数 176,948人(前年比6.7%増)			
	から暮らしやすいまちをつくる	166	緑地の整備・推進	都市計画課	拡充	○特別保全緑地第1～6号の維持管理 ○特別保全緑地3、4、5、6号 固定資産税分・都市計画税分 ○特別保全緑地土地賃借料 23,395円、維持管理委託料 786,576円、施設所有者賠償責任保険料 209,760円			
	から暮らしやすいまちをつくる	167	公害対策事業	環境課	継続	<河川等・地下水利用地域水質調査> 地下水、公共用水域の水質状況を把握するため水質調査を実施した。 *河川等水質調査 ・河川水4地点 ・廢棄物処分場跡地周辺浸出水等 ・湖沼水1地点 ・16地点 *地下水環境基準項目のうち16物質年1回 *民家井戸水質監視 (平成11年度実施の井戸水質調査で揮発性有機化合物が検出された地区) 調査項目 挥発性有機化合物5物質 *地下水汚染機構解明調査(工業面地) ・観測井戸水質調査、水位データ回収 挥発性有機化合物5物質36井戸年1～2回 ・民間井戸水質調査 挥発性有機化合物5物質41井戸年1～2回 <大気環境調査> 白井市公民センター屋上において、環境大気中のダイオキシン類濃度を測定した。 測定回数 年2回(7月、1月) 測定結果 0.026pg-TEQ/m <sup>3</sup> (年間平均値) (環境基準 0.6pg-TEQ/m <sup>3</sup> )		E	
	から暮らしやすいまちをつくる	168	白井市営水道の配水管整備	上下水道課	継続	根地区において配水管 L=3.22m の施設整備を実施し、井戸水の水質悪化を懸念する住民へ安全な水の供給が図られた。			
	から暮らしやすいまちをつくる	169	公共下水道污水施設の整備	上下水道課	継続	根地区において、污水管 L=6.2. 3m の施設整備を実施し、富士地区等において、污水栓 3箇所の施設整備を実施し、生活環境の改善及び公共用水域の水質保全が可能となった。		E	
	から暮らしやすいまちをつくる	170	公共下水道雨水施設の整備	上下水道課	新規	白井、根地区において30. 3mの雨水排水施設が整備されたりにより、当該地区の水統的な雨水排水が可能となり浸水防止が図られた。			
	から暮らしやすいまちをつくる	171	子育て支援の情報提供	保健福祉相談室	継続	保健福祉相談室で作成している、「保健福祉ガイドブック」から子育てに関係する情報を再編・追加して、子育て情報を発行部数 500部 配布 関係課(児童家庭課、健康課、図書館等)の協力を仰ぎ、窓口及び子育て支援センター・児童館等において配布。		31	

別表③全事業について 詳細	事業番号	事業名	担当課	実施区分	平成26年度実績		判定
					目標	施策	
○平成26年度市民活動推進センター登録団体 53団体(子どもが参加できる事業などを実施している団体 内16団体) 内63団体(加入)にセントナー登録団体からなる管理運営協議会(登録団体の一部委託する。)							C
<効果>							
・運営協議会が市民活動の中間支援機能を担うことで、市民の立場に即した情報が提供。							
・利用団体が有する専門的知識や技術の活用が図られる。							
・市民活動団体との役割分担が明確になり、協働関係が構築される。							
・市と市民活動団体との役割分担が明確になり、協働関係が構築される。							
・各種事業の開催(講座・市民活動推進セミナー・ホームページ運営・情報の発信 (フロンティアの発行) 年3回)							
・各種事業の開催(講座・市民活動推進セミナー・ホームページ運営・情報の発信 (フロンティアの発行) 年3回)							
・市民団体との交流事業(市民活動まつり)							
・市民活動まつり11月30日開催 参加人数 800名							
・市民活動の意欲が向上する。							
・市民が有する専門的知識や技術の活用が図られる。							
・市と市民活動団体との役割分担が明確になり、協働関係が構築される。							
・各種事業の開催(講座・市民活動推進セミナー・ホームページ運営・情報の発信 (フロンティアの発行) 年3回)							
・市民活動の意欲が向上する。							
再							
○市内在住の未就学児と保護者を対象として地域子育て支援センター室を解放 ・9:00～12:00(月曜日から金曜日)、13:30～15:30(月/火/水/木曜日)、9:00～12:00(月2回 土曜日解放) 【子育て支援センター 南山ふれんど】 ・登録数282人。年間利用者 6,278人(子供/大人含む)。(1日平均1組。) 相談件数94件(食事・排泄・会話題目数)・登録者数 ・会員登録日数 ・会員登録者数 ・年間利用者数 ・年間相談件数 ・開館日数 ・開館者数 ・親子連れ合いが多く持てた。また、行事を通じて親子や親同士のつながりを深められた。							
児童家庭課(保育園)							
児童家庭課(保育園)							
児童家庭課(子育て支援センター)							
【清水口保育園】							
・ホームページ・スマートフォンで毎月1回発行。通信をセンターや保育園内に設置・掲示の他、白井市内の施設・スーパーなどにも設置・掲示。文選セントナーホームページ・広報誌に毎月1回掲載。公認訪問を年6回・5園合同企画「いっぽいっぽ」に年2回参加し、支援センターの紹介を行った。登録の際アンケートを行っているが、新しい試みでセンターを見たという回答があり、成果がうかがえる。							
【南山保育園】							
・通信を毎月1回発行。ふれんどの室内設置・掲示したり、外掲示板へ掲示や白井市内のセンター・児童館・スーパーなどへ設置・掲示してもらつた。ホームページ・広報誌に毎月1回掲載。公認訪問を年4回・5園合同企画「いっぽいっぽ」に年2回参加し、支援センターの紹介を行つた。保育サービスに関する情報が必要としている利用者に解り易く提供した。							
【健康課】							
・妊娠届出面接件数:457人 ・市民が自記入の必要な箇所を最小限にするなどの対応を継続して行い、時間の短縮が図られている。							
【子育て支援課】							
・見直しは実施していないが、平成27年度の組織見直しに向け準備を行なった。							
【健康課】							
・現在は、各種申請を郵送でも受け付けることで、利便性の向上が図られており、休日夜間の受付については実績もないため、検討を行わなかつた。							
【子育て支援課】							
・前年度と同様に、児童手当・児童扶養手当・ひとり親家庭等医療費等の現況届を日曜日に受付業務を実施した。							
市長への手紙や市民からの要望の中で、必要に応じて各課から国、県へ要望を提出している。							
子育てに関する情報の収集と発信	172	子どもも施策の情報の共有	市民参加推進課	拡充			
地域子育て支援拠点事業【重点⑥】	173		児童家庭課(保育園)	拡充			
サービスコーディネーター	174		児童家庭課(子育て支援センター)	継続			
各種申請手続の見直し	175	各種申請手続の見直し	各関係課	継続			
手手続き時間の見直し	176	手手続き時間の見直し	各関係課	継続			
手系統方法等変更に関する要望の提出	177	手系統方法等変更に関する要望の提出	各関係課	継続			
子育て支援推進体制をつくるために							

目標	③全事業について 詳細			担当課	実施区分	平成26年度実績		判定
	施策	事業番号	事業名					
各課・ 関係機関の連携体制の整備	178	児童虐待防止ネットワーク事業【重点①】	保健福祉相談室 各関係課	継続 60・98に 再掲	・代議者会議 年1回開催 ・担当者会議 月次月の第3木曜日開催 ・児童家庭課、健康課、学校教育課(教育セシター室)、保健福祉相談室) ※畜生月は市職員者・D・障害者部会を実施 ※畜生月は市職員者・D・障害者部会を実施 ・虐待事件について文書方針や各機関の役割等を共有することで、円滑に対応することができた。	再		
	179	こども発達センター事業	児童家庭課	継続 21に再掲	心身の発達や成長に心配のある子どもや心身障害児及び保護者に対し、相談や指導（グループ・個別）を行い、児童の発達 が促進され保護者の不安感の解消が図られた。 ・児童名：個人12名、H26.3月現在 ・個別指導：442名 ・グループ指導：271名 ・相談：623名 ・利用延べ人數：8,522名	再		
	180	療育システムの検討	社会福祉課	継続	・連絡会議の開催 3回 ・サポートファイルの配布 20件			
	181	健康づくり推進協議会	健康課	継続	年2回会議を開催し、健康プランの進捗状況及び第2次健康プラン策定並びに白井市民の「健康」に関するアンケート調査について審議した。			
	182	栄養士連絡会	健康課	継続	・会議 3回開催。（情報交換、情報共有） ・保健福祉センターで開催した。 ・各機関における食育の取り組みについて、情報交換をおこなった。栄養士のおすすめするレシピを作成した。 <効果> ・各機関等の栄養課題や事業方針、食に関する取り組みについて、情報交換を行い情報共有を行うことができた。共通で使用できる媒体作り（レシピ）の作成ができた。			
	183	関係各課及び市民団体等との連絡調整会議の設置	児童家庭課 関係各課	継続	・実績なし	未実現		
	184	少子化対策についての検討	児童家庭課 関係各課	新規	・実績なし	未実現		

別表 ③全事業について 詳細